



丸つけラクラクかいとう

この「丸つけラクラクかいとう」は
とりはずしてお使いください。

教育出版版
算数 2年



「丸つけラクラクかいとう」では
もんだいと ^{おな}同じ ところに ^{こた}赤字
で ^か答えを ^か書いて います。

- ①もんだいが とけたら、まずは ^あ答え合わせを しましょう。
- ②まちがえた もんだいは、てびき ^よを ^な読んで、もういちど ^お見直し しましょう。

見やすい答え

おうちのかたへ

おうちのかたへ では、次のような
ものを示しています。

- ・学習のねらいやポイント
- ・他の学年や他の単元の学習内容との
つながり
- ・まちがいやすいことやつまづきやすい
ところ

お子様への説明や、学習内容の把握
などにご活用ください。

くわしいてびき

2 たし算と ひき算

ぴったり1 6ページ

つぎの □ に あてはまる 数を かきましよう。

① **42+8** の 計算の しかた
42 から 8 ふえるから 50

② **18+5** の 計算の しかた
5 を 2 と 3 に 分けます。
18 に 2 を たして 20
20 と 3 で 23

1 (1) 16+4、(2) 23+7 の 計算を しましょう。

① (1) 16 から 4 ふえるから、
16+4=**20**
(2) 23 から 7 ふえるから、
23+7=**30**

2 37+9 の 計算を しましょう。

① 9 を **3** と 6 に 分けます。
37 に 3 を たして **40**
40 と **6** で 46 37+9=**46**

ぴったり2 7ページ

1 つぎの 計算を しましょう。

① 12+8 **20** ② 19+1 **20** ③ 35+5 **40**

④ 84+6 **90** ⑤ 43+7 **50** ⑥ 58+2 **60**

2 めだかが 46 びき います。
4 ひきの めだかを もらいました。
めだかは ぜんぶで ^何びきですか。

しき **46+4=50**

答え **50 びき**

3 つぎの 計算を しましょう。

① 19+8 **27** ② 17+7 **24** ③ 57+4 **61**

④ 64+9 **73** ⑤ 76+5 **81** ⑥ 48+7 **55**

4 きょう つるを 37 わ おりました。
きょう また 8 わ おりました。
つるは あわせて ^何わ になりましたか。

しき **37+8=45**

答え **45 わ**

ぴったり1 8ページ

つぎの □ に あてはまる 数を かきましよう。

① **40-8** の 計算の しかた
40 から 8 へるから 32

② **32-7** の 計算の しかた
32 を 30 と 2 に 分けます。
30 から 7 を ひいて 23
23 と 2 で 25

1 (1) 20-2、(2) 30-4 の 計算を しましょう。

① (1) 20 から 2 へるから、
20-2=**18**
(2) 30 から 4 へるから、
30-4=**26**

2 23-8 の 計算を しましょう。

① 23 を **20** と 3 に 分けます。
20 から 8 を ひいて **12**
12 と 3 で **15** 23-8=**15**

ぴったり2 9ページ

1 つぎの 計算を しましょう。

① 20-3 **17** ② 20-9 **11** ③ 40-7 **33**

④ 50-8 **42** ⑤ 70-2 **68** ⑥ 80-4 **76**

2 色紙が 30まい あります。
8まい つかうと ^何まい
のこりですか。

しき **30-8=22**

答え **22 まい**

3 つぎの 計算を しましょう。

① 21-4 **17** ② 24-6 **18** ③ 43-8 **35**

④ 92-3 **89** ⑤ 36-7 **29** ⑥ 84-9 **75**

4 いちごの あめが 34 こ、めろんの あめが 7 こ あります。
いちごの あめは めろんの あめより ^何こ 多いですか。

しき **34-7=27**

答え **27 こ**

ぴったり1

おうちのかたへ

1 と 9、2 と 8、…のように、あわせて
10 になる数をすぐに言えるように練習
しましょう。

ぴったり2

1 ① 12 から 8 ふえるから、
12+8=20
④ 84 から 6 ふえるから、
84+6=90

2 4 ひき もらったから、たし算に
なります。46 から 4 ふえるから、
46+4=50 です。

ぴったり2

1 ① 20 から 3 へるから、
20-3=17
③ 40 から 7 へるから、
40-7=33
⑤ 70 から 2 へるから、
70-2=68

2 8まい へるから、ひき算に
なります。しきは、30-8=22
です。

3 ① 21 を 20 と 1 に 分ける。
20 から 4 を ひいて 16
16 と 1 で 17

③ 43 を 40 と 3 に 分けます。
40 から 8 を ひいて 32
32 と 3 で 35
⑤ 36 を 30 と 6 に 分けます。
30 から 7 を ひいて 23
23 と 6 で 29

4 ちがいを もとめるので、ひき算に
なります。しきは、34-7=27
です。

1 表と グラフ

ぴったりに 1

2 ページ

つぎの □ に あてはまる 数や ことばを 書きましょう。

めあて 表やグラフにあらわして、そこからよみとれるようになるよ。

わんしゅう 1

表と グラフ

表や グラフに あらわすと、数の ちがいが くらべやすくなります。

それぞれの あそびを している 人数を、表と グラフに あらわしました。

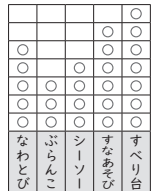


あそびの 人数しらべ

しゅるい	なわとび	ぶらんこ	シーソー	すなあそび	すべり台
人数(人)	5	3	4	6	7

1 ぶらんこで あそんで いる 人は 何人でしょうか。

あそびの 人数しらべ



とき方 人数を しらべるには、表が べんりです。表の ぶらんこの らんを 見ると 3 人です。

2 どの あそびを している 人が いちばん 多いでしょうか。

とき方 多い 少ないを しらべるには、グラフが べんりです。

○の 数が いちばん 多い すべり台 です。

グラフに すると、くらべやすいね。



ぴったりに 1

おうちのかなへ

表やグラフに表したら、その表やグラフを見て気がついたことをまとめておくとよいでしょう。数を調べるには表、多い少ないを調べるにはグラフが便利です。

ぴったりに 2

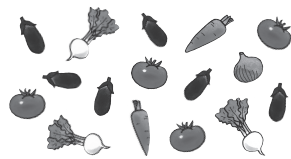
1 <表>それぞれの野菜の数を数えます。数え終わったものには、✓などのしるしをつけておくとよいでしょう。<グラフ>表の数だけ○をかきます。下からじゅんにかいていきましょう。

ぴったりに 2

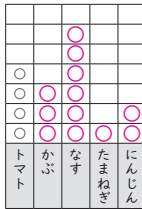
3 ページ

1 野菜の 数を 表や グラフに あらわしましょう。

教科書 13 ページ



野菜の 数しらべ



野菜の 数しらべ

しゅるい	トマト	かぶ	なす	たまねぎ	にんじん
数(こ)	4	3	6	1	2

1 かぶは 何こでしょうか。

(3 こ)

○は 下から かけて いったね。



2 どの 野菜が いちばん 多いでしょうか。

(なす)

3 どの 野菜が いちばん 少ないでしょうか。

(たまねぎ)

4 トマトと なすでは、どちらが 何こ 多いでしょうか。

(なすが 2 こ 多い。)

ぴったりに 3

4~5 ページ

知識・技能

100点

1 くだもの 数を しらべましょう。

1 もん 10 点 (40 点)



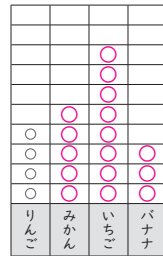
1 くだもの 数を 表に あらわしましょう。

くだもの 数しらべ

しゅるい	りんご	みかん	いちご	バナナ
数(こ)	4	5	8	3

2 くだもの 数を グラフに あらわしましょう。

くだもの 数しらべ



3 どの くだものが いちばん 多いでしょうか。

(いちご)

4 みかんは バナナより 何こ 多いでしょうか。

(2 こ)

2 2年2組の 人の 生まれた 月を しらべました。

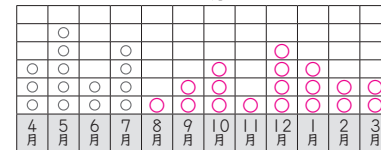
(1)20点、(2)~(5)1つ10点(60点)

生まれた 月しらべ

生まれた月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数(人)	3	5	2	4	1	2	3	1	4	3	2	2

1 グラフを かんせいさせましょう。

生まれた 月しらべ



2 生まれた 人数が いちばん 多い 月は 何月でしょうか。

(5 月)

3 7月生まれと 人数が 同じ 月は 何月でしょうか。

(12 月)

4 1月生まれの 人数は、8月生まれの 人数より 何人 多いでしょうか。

(2 人)

5 1月から 3月までに 生まれた 人数は、ぜんぶで 何人でしょうか。

(7 人)

ぴったりに 3

1 ①数えまちがないように、数えたものにはしるしをつけていくとよいでしょう。
②表の数だけ、下から○をかいていきます。
③グラフを見ると、○の高さがいちばん高いいちごが、いちばん数が多いことがわかります。
④表から、みかんは5こ、バナナは3こなので、5-3=2で、2こ多いとわかります。グラフで考えると、○の高さから、みかんのほ

うが2こ多いことがわかります。
③表からよみとることもできますが、グラフのほうがわかりやすいです。7月の○の高さと同じ高さの月をさがします。
④1月生まれの人数は3人、8月生まれの人数は1人だから、3-1=2(人)
⑤1月が3人、2月が2人、3月が2人だから、1月から3月までに生まれた人数は、3+2+2=7(人)

2 たし算

ぴったり 1

6 ページ

つぎの □ に あてはまる 数 を 書きましょう。

① 2けた+2けたの計算が、筆算でできるようにしよう。

14+23の筆算のしかた

① 位を たてに そろえて 書く。

② 一の位の 計算を する。
4+3=7

③ 十の位の 計算を する。
1+2=3

1 43+35 を 筆算で しましょう。

とき方 ① 位を たてに そろえて 書く。

4	3
+	3
7	8

② 一の位の 計算は、3+5=8

③ 十の位の 計算は、4+3=7

2 27+30 を 筆算で しましょう。

とき方 ① 位を たてに そろえて 書く。

2	7
+	3
5	7

② 一の位の 計算は、7+0=7

③ 十の位の 計算は、2+3=5

ぴったり 2

7 ページ

1 筆算で しましょう。

① 23+42

2	3
+	4
6	5

② 14+25

1	4
+	2
3	9

③ 43+40

4	3
+	4
8	3

④ 50+31

5	0
+	3
8	1

⑤ 50+20

5	0
+	2
7	0

⑥ 30+60

3	0
+	6
9	0

2 みなとさんは、16円のグミと22円のラムネを、1つずつ買います。あわせて何円になるでしょうか。

筆算

16	
+	22
38	

答え (38円)

ぴったり 1

8 ページ

つぎの □ に あてはまる 数 を 書きましょう。

① くり上りのあるたし算が、筆算でできるようにしよう。

26+17の筆算のしかた

① 位を たてに そろえて 書く。

② 一の位の 計算を する。
6+7=13
十の位に 1 くり上げる。

③ 十の位の 計算を する。
1+2+1=4

1 筆算で しましょう。

(1) 54+28

5	4
+	2
8	2

(2) 43+17

4	3
+	1
6	0

とき方 位を たてに そろえて 書きます。

(1) ① 一の位の 計算は、4+8=12

② 十の位に 1 くり上げる。

③ 十の位の 計算は、1+5+2=8

(2) ① 一の位の 計算は、3+7=10

② 十の位に 1 くり上げる。

③ 十の位の 計算は、1+4+1=6

ぴったり 2

9 ページ

1 筆算で しましょう。

① 27+35

2	7
+	3
6	2

② 78+16

7	8
+	1
9	4

③ 47+24

4	7
+	2
7	1

2 計算を しましょう。

① 18+57 75 ② 42+39 81

3 公園に 子どもが 45人、大人が 18人 います。あわせて 何人 いるでしょうか。

筆算

45	
+	18
63	

答え (63人)

ぴったり 1

おうちのかたへ

初めて、位をたてにそろえて計算する筆算を学習します。基本は、位をたてにそろえて、一の位→十の位の順に計算します。

ぴったり 2

1 筆算は位をたてにそろえて計算します。一の位→十の位のじゅんに計算しましょう。

- ① 一の位の計算は、3+2=5
十の位の計算は、2+4=6
- ③ 一の位の計算は、3+0=3

- 十の位の計算は、4+4=8
- ④ 一の位の計算は、0+1=1
十の位の計算は、5+3=8
- ⑥ 一の位の計算は、0+0=0
十の位の計算は、3+6=9

2 「あわせて何円」なので、たし算になります。

しあげの5分レッスン

筆算で計算するときは、一の位や十の位の数字をたてにそろえよう。

ぴったり 1

おうちのかたへ

十の位にくり上がりがある筆算です。くり上がったことを忘れないように、十の位の上に小さく書いておく習慣をつけさせましょう。

ぴったり 2

1 位をたてにそろえて書き、一の位→十の位のじゅんに計算をします。十の位へくり上げた1をわすれないようにしましょう。

- ①
$$\begin{array}{r} 18 \\ +57 \\ \hline 75 \end{array}$$
- ②
$$\begin{array}{r} 42 \\ +39 \\ \hline 81 \end{array}$$
- ③
$$\begin{array}{r} 28 \\ +52 \\ \hline 80 \end{array}$$
- ④
$$\begin{array}{r} 66 \\ +24 \\ \hline 90 \end{array}$$

3 「あわせて何人」なので、たし算になります。計算は、十の位へのくり上がりをわすれないようにしましょう。

ぴったり 1

10 ページ

つぎの □ に あてはまる 数 を 書きましよう。

① けたと2けたのくり上がりのあるたし算が、筆算でできるようになる。

6+27の筆算のしかた

$$\begin{array}{r} 6 \\ +27 \\ \hline \end{array} \rightarrow \begin{array}{r} 6 \\ +27 \\ \hline 3 \\ \hline \end{array} \rightarrow \begin{array}{r} 6 \\ +27 \\ \hline 33 \\ \hline \end{array}$$

① 位を たてに そろえて 書く。 ② 一の位の計算 6+7=13 ③ 十の位の計算 1+2=3

1 57+8を筆算でましよう。

とき方 ① 位を たてに そろえて 書く。 ② 一の位の計算は、7+8=15 ③ 十の位の計算は、1+5=6

たし算のきまり

たし算では、たされる数と たす数を入れかえて たしても、答えは 同じ になります。

14+9=23 9+14=23

2 つぎの計算をして、答えをくらべましよう。

㊦ 17+26 ㊧ 26+17

とき方 ㊦ ㊧ ㊦も ㊧も 答えは 43 で、同じ になります。

ぴったり 2

11 ページ

1 筆算でましよう。

① 28+6 ② 9+45 ③ 7+64

$$\begin{array}{r} 28 \\ +6 \\ \hline 34 \end{array} \quad \begin{array}{r} 9 \\ +45 \\ \hline 54 \end{array} \quad \begin{array}{r} 7 \\ +64 \\ \hline 71 \end{array}$$

2 計算をましよう。

① 37+5 42 ② 8+79 87 ③ 8+82 90 ④ 54+6 60

3 計算をましよう。また、たされる数と たす数を入れかえて たして、答えが 同じ になる ことを たしかめましよう。

① 29+62 ② 46+8 ③ 15+58 ④ 26+34 ⑤ 9+38 ⑥ 83+7

$$\begin{array}{r} 29 \\ +62 \\ \hline 91 \end{array} \quad \begin{array}{r} 62 \\ +29 \\ \hline 91 \end{array} \quad \begin{array}{r} 46 \\ +8 \\ \hline 54 \end{array} \quad \begin{array}{r} 8 \\ +46 \\ \hline 54 \end{array} \quad \begin{array}{r} 15 \\ +58 \\ \hline 73 \end{array} \quad \begin{array}{r} 26 \\ +34 \\ \hline 60 \end{array} \quad \begin{array}{r} 9 \\ +38 \\ \hline 47 \end{array} \quad \begin{array}{r} 83 \\ +7 \\ \hline 90 \end{array}$$

ぴったり 3

12~13 ページ

知識・技能 /60点

1 右の筆算のしかたをせつ明してまいます。

□ に あてはまる 数 を 書きましよう。

① 位を たてに そろえて 書く。 ② 一の位の計算をまする。 ③ 十の位の計算をまする。 ④ 38+27=65

2 筆算でましよう。

① 42+23 ② 30+67 ③ 15+58 ④ 26+34 ⑤ 9+38 ⑥ 83+7

$$\begin{array}{r} 42 \\ +23 \\ \hline 65 \end{array} \quad \begin{array}{r} 30 \\ +67 \\ \hline 97 \end{array} \quad \begin{array}{r} 15 \\ +58 \\ \hline 73 \end{array} \quad \begin{array}{r} 26 \\ +34 \\ \hline 60 \end{array} \quad \begin{array}{r} 9 \\ +38 \\ \hline 47 \end{array} \quad \begin{array}{r} 83 \\ +7 \\ \hline 90 \end{array}$$

3 つぎの筆算のまちがいを 見つけて、正しく 計算ましよう。

① $\begin{array}{r} 29 \\ +34 \\ \hline 53 \end{array}$ ② $\begin{array}{r} 5 \\ +28 \\ \hline 78 \end{array}$ ③ $\begin{array}{r} 29 \\ +34 \\ \hline 63 \end{array}$ ④ $\begin{array}{r} 5 \\ +28 \\ \hline 33 \end{array}$

4 赤い花が38こ、白い花が15こさいてまいます。あわせて何こさいてまいますか。

式 筆算 答え (53こ)

$$38+15=53$$

$$\begin{array}{r} 38 \\ +15 \\ \hline 53 \end{array}$$

5 ゆきさんは、きのうまでに本を54ページまで読みました。今日16ページ読みました。ぜんぶで何ページ読んでましようか。

式 筆算 答え (70ページ)

$$54+16=70$$

$$\begin{array}{r} 54 \\ +16 \\ \hline 70 \end{array}$$

6 ①、②と 答えが 同じ になる 式を □ の 中から えらびましよう。

① 17+45 ② 46+29 ③ 17+35 ④ 29+45 ⑤ 45+17 ⑥ 45+27 ⑦ 29+46

ぴったり 1

おうちのかたへ

「たされる数とたす数を入れかえてたしても、答えは同じになる」というたし算のきまりは、たし算の答えの確かめに使うことができることに気づかせましよう。

ぴったり 2

筆算の書き方にちゅういしましよう。

一の位の数字を、きちんとたてにそろえます。

① $\begin{array}{r} 1 \\ 37 \\ +5 \\ \hline 42 \end{array}$ ② $\begin{array}{r} 1 \\ 8 \\ +79 \\ \hline 87 \end{array}$ ③ $\begin{array}{r} 1 \\ 8 \\ +82 \\ \hline 90 \end{array}$ ④ $\begin{array}{r} 1 \\ 54 \\ +6 \\ \hline 60 \end{array}$

3 たし算では、たされる数とたす数を入れかえてたしても、答えは同じになります。このきまりをつかって、たし算の答えのたしかめをますることができます。

ぴったり 3

1 筆算は、位ごとに一の位から計算まします。十の位に1くり上げることを わすれないようにましよう。

2 一の位、十の位がたてにそろうように書きます。

3 ①十の位に1くり上がったことを わすれてましたまちがいです。くり上がった1をわすれないように、十の位の上に小さく書いておきましよう。

4 「あわせて何こ」なので、たし算です。十の位にくり上がった1をわすれないようにましよう。

5 「ぜんぶで何ページ」なので、たし算です。一の位が0になるので、気をつけましよう。

6 たし算では、たされる数とたす数を入れかえてたしても答えは同じです。

3 ひき算

ぴったりに1

14 ページ

つぎの にあてはまる 数を書きましょう。

① ねらい 2けた-2けたの計算が、筆算でできるようになろう。

37-14 の筆算のしかた

① 位の たてに そろえて書く。

② 一の位の 計算をする。
 $7-4=3$

③ 十の位の 計算をする。
 $3-1=2$

④ 筆算で しましょう。(1) $67-42$ (2) $86-30$

⑤ 筆算の書き方は、たし算のときと同じです。

(1) ① 位を たてに そろえて書く。

② 一の位の 計算は、 $7-2=5$

③ 十の位の 計算は、 $6-4=2$

(2) ① 位を たてに そろえて書く。

② 一の位の 計算は、 $6-0=6$

③ 十の位の 計算は、 $8-3=5$

ぴったりに2

15 ページ

① 筆算で しましょう。

① $67-53$

② $95-61$

③ $76-20$

④ $48-30$

⑤ $89-19$

⑥ $53-23$

⑦ $9-9=0$

⑧ $3-3=0$

⑨ バスに 46 人 のって いました。バスでいて、13 人 おりました。のこりは 何人 になったでしょうか。

式 $46-13=33$ 筆算 $\begin{array}{r} 46 \\ -13 \\ \hline 33 \end{array}$

答え (33 人)

ぴったりに1

16 ページ

つぎの にあてはまる 数を書きましょう。

① ねらい くり下がりのあるひき算が、筆算でできるようになろう。

31-16 の筆算のしかた

① 位を たてに そろえて書く。

② 一の位の 計算をする。1から6はひけないので、十の位から1くり下げる。
 $11-6=5$

③ 十の位の 計算をする。
 $2-1=1$

④ $61-18$ を筆算で しましょう。

⑤ ① 一の位の 計算は、十の位から1くり下げて、 $11-8=3$

⑥ 十の位の 計算は、 $5-1=4$

⑦ ひき算の答えのたしかめが、できるようになろう。

⑧ たし算と ひき算の かんけい

ひき算の 答えに ひく数を たすと、ひかれる数に なります。

$23-8=15$
 $15+8=23$

⑨ $34-9=25$ の 答えは、 $25+9=34$ で、たしかめる ことができます。

ぴったりに2

17 ページ

① 筆算で しましょう。

① $71-14$

② $82-39$

③ $64-47$

④ $28-9=19$

⑤ $53-7=46$

⑥ $60-4=56$

⑦ 計算を しましょう。

また、答えの たしかめを しましょう。

⑧ $42-28=14$ たしかめ $14+28=42$

⑨ $90-85=5$ たしかめ $5+85=90$

ぴったりに1

おうちのかたへ

ひき算の筆算も、たし算と同じように、一の位→十の位の順に計算することを確認させましょう。

ぴったりに2

- ③一の位の計算は、 $6-0=6$
十の位の計算は、 $7-2=5$
- ⑤一の位の計算は、 $9-9=0$
十の位の計算は、 $8-1=7$
一の位の0をわすれないようにしましょう。
- ⑥一の位の計算は、 $3-3=0$

- 十の位の計算は、 $5-2=3$
一の位に0を書くのをわすれないようにしましょう。
- ② バスにのこった人数をもとめるので、ひき算になります。筆算は、位をたてにそろえましょう。

ぴったりに1

おうちのかたへ

くり下がりのあるひき算の筆算では、くり下げた1を忘れないようにすることが大切です。

ぴったりに2

- ① くり下がりのあるひき算です。くり下げたら、十の位の数を1小さくしておきましょう。
- ② ①～③答えの十の位が0になるひき算です。十の位の0は書かないようにしましょう。
- ④～⑥筆算の書き方にちゅういしま

しょう。

- ① $\begin{array}{r} 41 \\ -51 \\ \hline -45 \\ 6 \end{array}$ ② $\begin{array}{r} 21 \\ -37 \\ \hline -29 \\ 8 \end{array}$ ③ $\begin{array}{r} 71 \\ -80 \\ \hline -73 \\ 7 \end{array}$
- ④ $\begin{array}{r} 11 \\ -28 \\ \hline 19 \end{array}$ ⑤ $\begin{array}{r} 41 \\ -53 \\ \hline -46 \\ 4 \end{array}$ ⑥ $\begin{array}{r} 51 \\ -60 \\ \hline -49 \\ 5 \end{array}$

- ③ ひき算の答えのたしかめは、
答え+ひく数=ひかれる数の式でできます。

ぴったりに3

18~19 ページ

知識・技能 /70点

1 右の筆算のしかたをせつ明して います。
□ に あてはまる 数を 書きましょう。 1つ5点(25点)

① 位を たてに そろえて 書く。

② 一の位の 計算を する。
3から 6は ひけないので、
十の位から 1 くり下げる。

$$\begin{array}{r} 43 \\ -16 \\ \hline \end{array}$$

③ 十の位の 計算を する。

$$\begin{array}{r} 3 \\ -1 \\ \hline \end{array}$$

④ $43-16=$

2 $51-28=23$ の 答えを たしかめます。 1つ5点(15点)

① 下の □ に あてはまる ことばを 書きましょう。
ひき算の 答えに **ひく数** を たすと、
ひかれる数に なります。

② たしかめの 式を 書きました。
□ に あてはまる 数を 書きましょう。

$$23+ \text{$$

⑤ しくじり 筆算で しましょう。 1つ5点(30点)

① $37-14$ $\begin{array}{r} 37 \\ -14 \\ \hline 23 \end{array}$ ② $85-47$ $\begin{array}{r} 85 \\ -47 \\ \hline 38 \end{array}$

③ $71-67$ $\begin{array}{r} 71 \\ -67 \\ \hline 4 \end{array}$ ④ $50-43$ $\begin{array}{r} 50 \\ -43 \\ \hline 7 \end{array}$

⑤ $96-8$ $\begin{array}{r} 96 \\ -8 \\ \hline 88 \end{array}$ ⑥ $30-4$ $\begin{array}{r} 30 \\ -4 \\ \hline 26 \end{array}$

思考・判断・表現 /30点

4 かえでさんは シールを 50まい もって いました。
この うち 32まいを つかいました。
このこりは 何まいでしょうか。 式・筆算・答え 1つ5点(15点)

式 筆算 $\begin{array}{r} 50 \\ -32 \\ \hline 18 \end{array}$ 答え (18まい)

5 玉入れきょうそうで、赤い 玉は 68こ、白い 玉は 82こ 入りました。どちらが 何こ 多く 入ったでしょうか。 式・筆算・答え 1つ5点(15点)

式 筆算 $\begin{array}{r} 82 \\ -68 \\ \hline 14 \end{array}$ 答え (白い 玉が 14こ 多く 入った。)

4 長さ

ぴったりに1

20 ページ

つぎの □ に あてはまる 数を 書きましょう。

① 長さのたいい cm がわかるようになるう。 わんしゅう ①②③④

☆センチメートル

長さは、同じ 長さを もとに して、その いくつ分であらわす ことが できます。

右の 長さは 1センチメートルです。
1センチメートルは 1cm と 書きます。

1 テープの 長さは 何 cm でしょうか。

とき方 1cm の 6こ分だから cm です。

② 長さのたいい mm がわかるようになるう。 わんしゅう ②③④

☆ミリメートル

1cm を 同じ 長さに 10こに 分けた 1こ分の 長さを 1ミリメートルと いい、 1mm と 書きます。

1cm = 10mm

2 直線の 長さは 何 cm 何 mm でしょうか。

とき方 長い めもりで cm、
みじかい めもりで mm だから、
 cm mm です。

ぴったりに2

21 ページ

① □ に あてはまる 数を 書きましょう。 教科書 52ページ

① 1cm の 8こ分の 長さは cm です。

② 14cm は、1cm の こ分の 長さです。


② テープの 長さは 何 cm 何 mm でしょうか。
また、何 mm でしょうか。 教科書 55ページ


③ どちらが 長いでしょうか。
長い ほうに ○ を つけましょう。 教科書 55ページ

① (cm、68 mm)

② (12 mm、 cm)

④ つぎの 長さの 直線を かきましよう。 教科書 56ページ

① 5cm 

② 3cm 8mm 

ぴったりに3

- 1 くり下がりのあるひき算がわかって いるかをみるもんだいです。
- 2 たし算とひき算のかんけいをつかっ て、ひき算の答えのたしかめをする ことができます。
- 答え + ひく数 = ひかれる数

② $\begin{array}{r} 71 \\ 85 \\ -47 \\ \hline 38 \end{array}$ ③ $\begin{array}{r} 61 \\ 71 \\ -67 \\ \hline 4 \end{array}$

④ $\begin{array}{r} 41 \\ 50 \\ -43 \\ \hline 7 \end{array}$ ⑤ $\begin{array}{r} 81 \\ 96 \\ -8 \\ \hline 88 \end{array}$

- 4 「のこりは何まい」なので、ひき算に なります。
- 5 玉の数のちがいをもとめるので、ひ き算です。式を、 $68-82$ としな いようにちゅういします。また、答 え方にも気をつけましよう。

ぴったりに1

おうちのかたへ

初めて長さの単位を学習します。1cm や1mm がどれくらいの長さかを、具体物を使って量感を持たせましよう。

ぴったりに2

- 1 長さは、1cm や1mm の何こ分であらわします。
- 2 ものさしの大きい | めもりは1cm、小さい | めもりは1mm をあらわしています。
- 1cm が8こ分で8cm、1mm が5こ分で5mm、8cm と5mm で

- 8cm 5mm です。8cm は80mm なので、8cm 5mm は85mm になります。
- 3 長さをくらべるときは、同じたいいにそろえてくらべましよう。
- ① 7cm は70mm なので、68mm より長い。
- ② 2cm は20mm なので、12mm より長い。
- 4 ものさしをつかって、①は5cm、②は3cm 8mm はなして2つの点をうち、その点と点を直線でむすびます。

ぴったり 1

22 ページ

つぎの □ に あてはまる 数 を 書きましよう。

④の長さの計算ができるようになろう。

長さは たし算 ひいたり する ことが できます。

$3\text{ cm } 5\text{ mm} + 4\text{ cm} = 7\text{ cm } 5\text{ mm}$

① ⑥の線の長さと、⑤の線の長さをくらべましよう。

② ⑤の線の長さは、2つの直線の長さをたします。

$6\text{ cm } 5\text{ mm} + 3\text{ cm} = 9\text{ cm } 5\text{ mm}$

③ 長さのちがいを もとめます。

$9\text{ cm } 5\text{ mm} - 8\text{ cm} = 1\text{ cm } 5\text{ mm}$

④ ⑤の線のほうが 1 cm 5 mm 長いです。

ぴったり 2

23 ページ

① ⑥の線の長さと、⑤の線の長さをくらべます。

① ⑥の線の長さは 何 cm 何 mm でしょうか。

式 $5\text{ cm } 5\text{ mm} + 3\text{ cm} = 8\text{ cm } 5\text{ mm}$

② ⑥の線と ⑤の線では、どちらが どれだけ 長いでしょうか。

式 $8\text{ cm } 5\text{ mm} - 6\text{ cm} = 2\text{ cm } 5\text{ mm}$

② 計算を しまししよう。

① $2\text{ cm} + 7\text{ cm} = 9\text{ cm}$

② $8\text{ cm} - 5\text{ cm} = 3\text{ cm}$

③ $6\text{ cm } 8\text{ mm} + 3\text{ cm} = 9\text{ cm } 8\text{ mm}$

④ $9\text{ cm } 7\text{ mm} - 7\text{ cm} = 2\text{ cm } 7\text{ mm}$

ぴったり 3

24~25 ページ

① テープの長さを はかります。

① テープの長さは、11 cm 6 mm です。

② また、116 mm です。

② えんぴつの長さ 12 cm

② ひまわりのたねの長さ 9 mm

③ けしゴムの長さ 35 mm

③ つぎの長さの直線を かしまししよう。

① 4 cm

② 5 cm 2 mm

④ □ に あてはまる 数 を 書きましよう。

① $5\text{ cm} = 50\text{ mm}$

② $2\text{ cm } 9\text{ mm} = 29\text{ mm}$

③ $83\text{ mm} = 8\text{ cm } 3\text{ mm}$

⑤ 計算を しまししよう。

① $3\text{ cm} + 7\text{ cm} = 10\text{ cm}$

② $6\text{ cm} - 5\text{ cm} = 1\text{ cm}$

③ $4\text{ cm } 2\text{ mm} + 3\text{ cm} = 7\text{ cm } 2\text{ mm}$

④ $7\text{ cm } 8\text{ mm} - 2\text{ cm} = 5\text{ cm } 8\text{ mm}$

⑥ ⑥の線の長さと、⑤の線の長さをくらべます。

① ⑤の線の長さは 何 cm 何 mm でしょうか。

式 $2\text{ cm } 5\text{ mm} + 7\text{ cm} = 9\text{ cm } 5\text{ mm}$

② どちらが どれだけ 長いでしょうか。

式 $9\text{ cm } 5\text{ mm} - 7\text{ cm } 5\text{ mm} = 2\text{ cm}$

② ⑥の直線の長さをはかると、7 cm 5 mm です。⑤のほうが長いので、長さのちがいは、⑤-⑥の式でもとめます。

ぴったり 1

おうちのかたへ

長さの計算では、同じ単位どうしで計算するように注意させてください。単位がちがう場合は、同じ単位にそろえて計算させましよう。

ぴったり 2

① 長さも、たし算やひき算ができます。式を書くときは、たんいもいっしょに書きましよう。

① ⑥の線の長さは、5 cm 5 mm と 3 cm の2つ直線をあわせた長さだから、たし算をします。同じた

んいどうしを計算しまししよう。

$5\text{ cm } 5\text{ mm} + 3\text{ cm} = 8\text{ cm } 5\text{ mm}$

② ちがいをもとめるので、ひき算をします。

$8\text{ cm } 5\text{ mm} - 6\text{ cm} = 2\text{ cm } 5\text{ mm}$

② 同じたんいどうしを計算します。

③ $6\text{ cm } 8\text{ mm} + 3\text{ cm} = 9\text{ cm } 8\text{ mm}$

④ $9\text{ cm } 7\text{ mm} - 7\text{ cm} = 2\text{ cm } 7\text{ mm}$

ぴったり 3

① ② 1 cm = 10 mm なので、11 cm は 110 mm になります。それに 6 mm をたします。

② 1 cm、1 mm のだいたいの長さをおぼえておきましよう。

③ 35 cm では長すぎます。35 mm だと 3 cm 5 mm だから、てきとうな長さといえます。

③ 直線は、ものさしをつかって、点と点をむすんでかきます。ものさしがうごかないようちゅういしまししよう。

④ 1 cm = 10 mm をもとに考えましよう。

う。

⑤ 同じたんいどうしを計算します。

③ $4\text{ cm } 2\text{ mm} + 3\text{ cm} = 7\text{ cm } 2\text{ mm}$

④ $7\text{ cm } 8\text{ mm} - 2\text{ cm} = 5\text{ cm } 8\text{ mm}$

⑥ ① まず、ものさしで長さをはかりま

② ⑥の直線の長さをはかると、7 cm 5 mm です。⑤のほうが長いので、長さのちがいは、⑤-⑥の式でもとめます。

5 100より大きい数

ぴったり1 26ページ

つぎの にあてはまる数や >か<のしるしを書きましょう。

①めあて 100より大きい数があわせられるようになる。

3けたの数のあわせ方

100が 2こ	10が 5こ	1が 6こ
百の位	十の位	一の位
2	5	6

100が 2こ → 200
10が 5こ → 50
1が 6こ → 6
あわせて 256

10のまとまりが10こあつたら、100になるよ。

① 何まいあるでしょうか。

100が 3こで 300、1が 2こで 2。
300と2で **302**まい。

② 327と412の大小を、>か<のしるしをつかってあわせましょう。

百の位の数字からくらべます。
3と4では4のほうが大きいから、327 < 412

ぴったり2 27ページ

① 何まいあるでしょうか。

100が 3こ、10が 5こ、1が 6こ
324まい

② つぎの数をよみましょう。

① 295 ② 716 ③ 304

(二百九十五) (七百十六) (三百四)

③ つぎの数を数字で書きましょう。

① 100を5こと、10を7こと、1を2こあわせた数
572

② 100を8こと、1を9こあわせた数
809

④ にあてはまる >か<のしるしを書きましょう。

① 242 < 340

② 610 > 601

ぴったり1 28ページ

つぎの にあてはまる数を書きましょう。

①めあて 数の線の見方がわかるようになる。

数の線の見方
いちばん小さい | めもりの大きさを考えて、めもりをよみます。

① ②のめもりがあわらず数を答えましょう。

① **10** ② **540**

③ 10を63こあつめた数は、いくつでしょうか。

③ **630**

④ 1000は10を何こあつめた数でしょうか。

④ **100**

ぴったり2 29ページ

① 下の数の線を見て答えましょう。

① ②のめもりがあわらず数を書きましょう。
② **90** ③ **600**

② 280をあわらずめもりに ↓ を書きましょう。

③ 300より50小さい数を書きましょう。
250

④ 420より100大きい数を書きましょう。
520

② にあてはまる数を書きましょう。

① 10を27こあつめた数は **270** です。

② 10を80こあつめた数は **800** です。

③ 650は10を **65** こあつめた数です。

④ 400は10を **40** こあつめた数です。

③ 1000より1小さい数はいくつでしょうか。
999

ぴったり1

おうちのかたへ

数の大きさを比べるときは、大きい位から順に比べることが大切です。

ぴったり2

- 100が3こで300、10が2こで20、ばらが4なので、あわせて324になります。
- ③十の位の0はよみません。
- ①100が5こで500
10が7こで70
1が2こで2
あわせて572

②100が8こで800
1が9こで9
あわせて809

- ①百の位の数字をくらべると、3のほうが大きいから、242 < 340
- ②百の位の数字は同じだから、十の位の数字をくらべると、1のほうが大きいから、610 > 601

ぴったり1

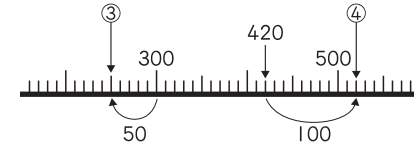
おうちのかたへ

数の線(数直線)は、右へいくほど大きくなります。1目もりがいくつを表しているかに注目することが大切です。

ぴったり2

- 大きいめもりが5こで500だから、大きいめもりは100です。また、小さいめもりが10こで100だから、小さいめもりは10です。
- ②280は、200と80だから、大きいめもりで2つ、小さいめもりで8つすんだ数です。

③④数の線で考えてみましょう。



- ①10が20こで200、10が7こで70だから、10が27こで270。
- ③600は10が60こ、50は10が5こだから、650は10が65こ。
- ④ 数の線で考えましょう。

ぴったり 1

30 ページ

つぎの □ に あてはまる 数 を 書きましょう。

①めあて 何十、何百十の計算ができるようになる。

何十、何百十の計算

10のまとまりで考えると、 $60+80=140$ 、 $130-50=80$
 $6+8=14$ 、 $13-5=8$

1 計算をしましょう。
 (1) $70+50$ (2) $140-80$

とき方 10のまとまりで考えます。
 (1) $7+5=12$ だから、 $70+50=120$
 (2) $14-8=6$ だから、 $140-80=60$

②めあて 何百、何百十の計算ができるようになる。

何百の計算 $400+200=600$
 100のまとまりで考えます。
 何百何十の計算 $230+50=280$
 10のまとまりで考えます。

2 計算をしましょう。
 (1) $700-400$ (2) $560-50$

とき方 (1) 100のまとまりで考えます。
 $7-4=3$ だから、 $700-400=300$
 (2) 10のまとまりで考えます。
 $56-5=51$ だから、 $560-50=510$

ぴったり 2

31 ページ

1 計算をしましょう。

① $60+70=130$ ② $90+20=110$
 ③ $120-40=80$ ④ $160-70=90$

2 計算をしましょう。

① $500+300=800$ ② $200+600=800$
 ③ $900-400=500$ ④ $800-500=300$

3 計算をしましょう。

① $340+30=370$ ② $710+50=760$
 ③ $690-60=630$ ④ $480-80=400$

4 赤い花が160本、白い花が30本あります。

① 花はあわせて、何本あるでしょうか。
 式 $160+30=190$ 答え (190本)

② 赤い花は、白い花より何本多いでしょうか。
 式 $160-30=130$ 答え (130本)

ぴったり 3

32~33 ページ

知識・技能 / 75点

1 何本あるでしょうか。また、百の位の数字は何でしょうか。

1つ5点(10点)

百の位の数字 (436本の4)

2 〇に あてはまる 数 を 書きましょう。

1つ5点(15点)

① 100を6こ、10を2こあわせた数は620です。
 ② 530は10を53こあつめた数です。
 ③ 100を10こあつめた数は1000です。

3 〇に あてはまる 数 の 線 で、①、②のめもりが あらわす 数 を 答えましょう。

1つ5点(10点)

① (680) ② (830)

4 つぎの数の大きさを、>か<のしるしをつかってあわしましょう。

1つ5点(10点)

① (873, 857) ② (98, 103)
 (873>857) (98<103)

5 計算をしましょう。

1つ5点(30点)

① $80+90=170$ ② $110-70=40$ ③ $200+500=700$
 ④ $1000-700=300$ ⑤ $820+40=860$ ⑥ $590-20=570$

思考・判断・表現 / 25点

6 420円の本と、60円のノートをあわせて何円になるでしょうか。

式 $420+60=480$ 答え (480円)

7 右の⑦と④のカードに書かれてある数はどちらが大きくなるか答えましょう。

⑦ 395 ④ 31
 (ア)

プログラミング / 145ページ

ターゲットは 10

スタート 1

ジャンプする 10

繰り返す 1

左にうごく 1

右にうごく 1

1をたたくと星が、10をたたくと星が出てくる。

ロボットのうごかし

星をあつめて、ターゲットの数をつくります。

あきさんと ななさんと、右のようにしじると、同じ星の数になりました。

ターゲットの数はいくつでしょうか。(34)

ぴったり 1

おうちのかたへ

何十や何百の計算は、10や100のまとまりで考えると、簡単な計算で答えが求められることに気づかせてください。

ぴったり 2

- 1 10のまとまりで考えます。
- ① 10が、 $6+7=13$ (こ) だから、 $60+70=130$
 ③ 10が、 $12-4=8$ (こ) だから、 $120-40=80$
- 2 100のまとまりで考えます。
- ① 100が、 $5+3=8$ (こ)

- だから、 $500+300=800$
- ③ 100が、 $9-4=5$ (こ) だから、 $900-400=500$
- 3 10のまとまりで考えます。
- ① 10が、 $34+3=37$ (こ) だから、 $340+30=370$
 ③ 10が、 $69-6=63$ (こ) だから、 $690-60=630$
- 4 10のまとまりで考えて、計算しましょう。

ぴったり 3

- 1 100が4こで400、10が3こで30、1が6こで6、あわせて436本です。
- 2 ②500は10が50こ、30は10が3こだから、530は10が53こ。
- 3 小さいめもりは、100を10こに分けているので10をあらわします。
- 4 数の大きさをくらべるときは、百の位の数字からじゅんにくらべていきます。
- 5 10や100のまとまりで考えます。
- 6 「あわせて何円」なので、たし算になります。

- 7 百の位は同じ数なので、それより小さい位にちゅうもくします。アは95だから、①の十の位に9を入れてもアのほうが大きくなります。

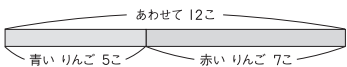
プログラミング

あきさん... | を4回たたいて、10を3回たたいているので、星の数は34になります。

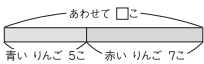
ななさん... | を24回たたいて、10を1回たたいているので、星の数は34になります。

場面を あらわした 図を見て、もんだいに 答えましょう。

青い りんごが 5こ、赤い りんごが 7こ あります。
りんごは あわせて 12こ あります。



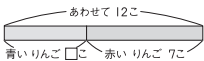
① あわせて 何こ あるでしょうか。
テープ図を見て、式と 答えを
書きましょう。



式 $5+7=12$

答え (12こ)

② 青い りんごは 何こ あるでしょうか。
テープ図を見て、式と 答えを
書きましょう。

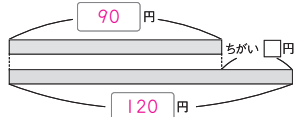


式 $12-7=5$

答え (5こ)

★ボールペンは 90円、ノートは 120円です。
ちがいは 何円ででしょうか。

① もとめる 数を □円と して、テープ図に あらわしました。
□に あてはまる 数を 書きましょう。



これも
テープ図だよ。



② 式と 答えを 書きましょう。
式 $120-90=30$

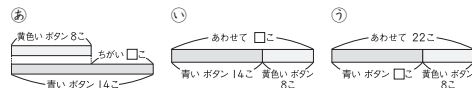
答え (30円)

★つぎの もんだいを あらわす テープ図を ④、①、②から
えらびましょう。

① 青い ボタンが 14こ、黄色い ボタンが 8こ あります。
あわせて 何こ あるでしょうか。 (い)

② 青い ボタンと 黄色い ボタンが あわせて 22こ あります。
黄色い ボタンは 8こです。
青い ボタンは 何こでしょうか。 (㉑)

③ 青い ボタンは 14こ、黄色い ボタンは 8こ あります。
ちがいは 何こでしょうか。 (あ)



★ 文しょうだいをテープ図にあらわすと、数のかんけい(関係)がわかりやすくなります。

それぞれのテープ図から、①はたし算、②はひき算で答えをもとめられることがわかります。

★ ①数のちがいをあらわすテープ図です。

②テープ図から、数のちがいはひき算でもとめられることがわかります。

★ 文しょうだいのないようをあらわす

テープ図を考えるもんだいです。

それぞれのもんだいの式と答えは、

①式 $14+8=22$ 答え 22こ

②式 $22-8=14$ 答え 14こ

③式 $14-8=6$ 答え 6こ

★ おうちのかたへ

文章題をテープ図に表すことを学びます。文章を読んだだけでは数の関係がよくわからない場合でも、テープ図に表すと、数の関係がよくわかるようになります。自分でテープ図がかけられるようになる力をつけることが大切です。

つぎの □に あてはまる 数を 書きましょう。

①めあて 答えが 100より大きくなるたし算ができるようになる。

35+97の筆算のしかた

10が10こあつまると、100のまとまりが1こできるから、百の位に1くり上げるんだね。

1 64+78を筆算でしましょう。

とき方 ① 一の位は、4+8=12
十の位に1くり上げる。
② 十の位は、1+6+7=14
百の位に1くり上げる。

①めあて 3けた+1けた、3けた+2けたの筆算ができるようになる。

627+46の筆算のしかた

3けたに なっても、筆算のしかたはかわらないよ。

2 548+7を筆算でしましょう。

とき方 ① 一の位は、8+7=15
② 十の位は、1+4=5
③ 百の位は、5

1 筆算で しましょう。

① 63+51 ② 79+53 ③ 5+98

2 計算を しましょう。

① 82+76 = 158 ② 27+90 = 117

③ 48+96 = 144 ④ 86+74 = 160

3 計算を しましょう。

① 85+16 = 101 ② 53+47 = 100

③ 97+8 = 105 ④ 6+95 = 101

4 計算を しましょう。

① 389+7 = 396 ② 538+3 = 541

③ 813+48 = 861 ④ 724+56 = 780

ぴったりに 1

★ おうちのかたへ

筆算は、まず位をたてにそろえて書くことと、くり上がった数の1を小さく書いておくことを徹底させましょう。

ぴったりに 2

1 百の位にくり上がりがあるたし算です。

② $\begin{array}{r} & 1 & & \\ & 7 & 9 & \\ + & 5 & 3 & \\ \hline 1 & 3 & 2 & \end{array}$ ③ $\begin{array}{r} & 1 & & \\ & & & 5 \\ + & 9 & 8 & \\ \hline 1 & 0 & 3 & \end{array}$

2 ③ $\begin{array}{r} & 1 & & \\ & 4 & 8 & \\ + & 9 & 6 & \\ \hline 1 & 4 & 4 & \end{array}$ ④ $\begin{array}{r} & 1 & & \\ & 8 & 6 & \\ + & 7 & 4 & \\ \hline 1 & 6 & 0 & \end{array}$

3 ① $\begin{array}{r} & 1 & & \\ & 8 & 5 & \\ + & 1 & 6 & \\ \hline 1 & 0 & 1 & \end{array}$ ③ $\begin{array}{r} & 1 & & \\ & 9 & 7 & \\ + & 8 & & \\ \hline 1 & 0 & 5 & \end{array}$

4 ② $\begin{array}{r} & 1 & & \\ & 5 & 3 & 8 \\ + & & 3 & \\ \hline & 5 & 4 & 1 \end{array}$ ④ $\begin{array}{r} & 1 & & \\ & 7 & 2 & 4 \\ + & 5 & 6 & \\ \hline & 7 & 8 & 0 \end{array}$

ぴったりに 1

38 ページ

つぎの □ に あてはまる 数 を 書きましよう。

①めあて 百の位からくり下げることができるようになろう。

128-56 の 筆算の しかた

1	2	8
-	5	6
		2

百の位から くり下げて 計算します。

100の まとまり 1こを、10の まとまり 10こを みて 計算するんだね。

1 146-50 を 筆算で しましよう。

とき方 ① 一の位は、6-0=□

	1	4	6
-			0
			6

② 十の位は、百の位から 1 くり下げて、□-5=□

1	4	
-		5
		6

②めあて くり下がりが2回あるひき算ができるようになろう。

153-89 の 筆算の しかた

1	5	3
-	8	9
		4

100の まとまり 1こを、10の まとまり 10こを みて 計算するんだね。

2 125-67 を 筆算で しましよう。

とき方 ① 一の位は、十の位から 1 くり下げて、15-7=□

	1	2	5
-			7
			8

② 十の位は、百の位から 1 くり下げて、□-6=□

	1		
-			6
			5

ぴったりに 2

39 ページ

1 筆算で しましよう。

① 127-84

1	2	7
-	8	4
		3

② 145-60

1	4	5
-	6	0
		5

③ 132-45

1	3	2
-	4	5
		7

2 計算を しましよう。

① 159-73 = 86

② 138-64 = 74

③ 114-20 = 94

④ 162-70 = 92

3 計算を しましよう。

① 135-67 = 68

② 152-85 = 67

③ 173-98 = 75

④ 124-76 = 48

⑤ 140-89 = 51

⑥ 180-94 = 86

ぴったりに 1

40 ページ

つぎの □ に あてはまる 数 を 書きましよう。

①めあて 十の位が0のひき算ができるようになろう。

103-28 の 筆算の しかた

1	0	3
-	2	8
		5

103-28 の 筆算の しかた

1	0	3
-	2	8
		5

103-28 の 筆算の しかた

1	0	3
-	2	8
		5

1 102-54 を 筆算で しましよう。

とき方 百の位から じゅんに くり下げて、

① 一の位は、2-4=8

	1	0	2
-			4
			8

② 十の位は、□-5=□

-			5
			4

②めあて 3つの数のたし算を、くふうして計算できるようになろう。

たし算の きまり

たし算では、たす じゅんじよを かえても、 答えは 同じに なります。

18+7+3

・じゅんに たす。 ・まとめて たす。

18+7=25 7+3=10

25+3=28 18+10=28

2 つぎの 計算を して、答えを くらべましよう。

④ 28+6+4

⑤ 28+(6+4)

とき方 () の 中は、先に 計算します。

④ 28+6+4=34+4=38

⑤ 28+(6+4)=28+10=38

④も ⑤も 答えは 38 で、同じに なります。

ぴったりに 2

41 ページ

1 筆算で しましよう。

① 102-38

1	0	2
-	3	8
		4

② 107-9

1	0	7
-		9
		8

③ 266-9

2	6	6
-		9
		7

2 計算を しましよう。

① 106-87 = 19

② 103-95 = 8

③ 105-8 = 97

④ 342-7 = 335

⑤ 570-16 = 554

3 くふうして 計算しましよう。

① 39+27+13 = 79

② 47+19+21 = 87

③ 36+28+14 = 78

ぴったりに 1

おうちのかたへ

百の位からくり下げたり、くり下がりが2回あるひき算の筆算の計算方法を学習します。くり下がりが複雑になるので、くり下げた後の数を書いておくように徹底させましよう。

ぴったりに 2

1 くり下がりにちゅういして計算しましよう。

①

	1		
	2	7	
-		8	4
		4	3

②

	1		
	4	5	
-		6	0
		8	5

2 百の位からくり下げる計算です。

①

	1		
	5	9	
-		7	3
		8	6

②

	1		
	3	8	
-		6	4
		7	4

③

	1		
	1	4	
-		2	0
		9	4

④

	1		
	6	2	
-		7	0
		9	2

⑤

	1		
	3	5	
-		6	7
		6	8

ぴったりに 1

おうちのかたへ

必ずくり下げた数を小さくメモする習慣をつけさせましよう。

ぴったりに 2

1

①

	9	1
	0	2
-		3
		6

②

	9	1
	0	7
-		
		9

③

	5	1
	2	6
-		
	2	5

2

①

	9	1
	0	6
-		8
		1

②

	9	1
	0	3
-		9
		8

③

	9	1
	0	5
-		
		9

④

	3	1
	4	2
-		7
	3	3

⑤

	6	1
	5	0
-		1
	5	5

3 たし算では、たすじゅんじよをかえても、答えは同じになります。

① 39+(27+13)=39+40=79

② 47+(19+21)=47+40=87

③ 36+28+14=(36+14)+28=50+28=78

ぴったりに3

42~43 ページ

知識・技能

80点

1 右の筆算のしかたをせつ明して います。
□ にあてはまる 数を 書きましょう。

1つ3点(12点)

- 位を たてに そろえて 書く。
- 一の位の 計算を する。
 $4-1=$ 3
- 十の位の 計算を する。
3から 7は ひけないので、
百の位から 1 くり下げる。

$$\begin{array}{r} 134 \\ - 71 \\ \hline \end{array}$$

$13-7=$ 6

4 $134-71=$ 63

2 2つ出題 計算を しましょう。

1つ5点(30点)

- $54+84$ 138 ② $98+35$ 133
- $67+38$ 105 ④ $8+94$ 102
- $426+5$ 431 ⑥ $754+39$ 793

ぴったりに3

1 くり下がりのある筆算のしかたをかくにんしましょう。

2 $\begin{array}{r} 1 \\ 98 \\ +35 \\ \hline 133 \end{array}$ ⑥ $\begin{array}{r} 1 \\ 754 \\ + 39 \\ \hline 793 \end{array}$

3 くり下がりのあるひき算です。

② $\begin{array}{r} 41 \\ 154 \\ - 76 \\ \hline 78 \end{array}$ ⑥ $\begin{array}{r} 31 \\ 643 \\ - 26 \\ \hline 617 \end{array}$

4 ①後ろの2つを先にたします。

$26+(18+42)=26+60=86$

5 1つ出題 計算を しましょう。

1つ5点(30点)

- $128-84$ 44 ② $154-76$ 78
- $101-19$ 82 ④ $107-98$ 9
- $450-7$ 443 ⑥ $643-26$ 617

4 2つ出題 くふうして 計算を しましょう。

1つ4点(8点)

- $26+18+42$ 86 ② $17+54+13$ 84

思考・判断・表現

20点

5 かえでさんは 105円 もって います。
89円 の おかしを 買うと、のこりは 何円に なるでしょうか。



式 $105-89=16$

答え (16円)

算数ワールド

6 みなどさんは シールを 46まい もって います。
お兄さんから 8まい、お姉さんから 12まい もらうと、
ぜんぶで 何まいに なるでしょうか。

式・答え 1つ5点(10点)

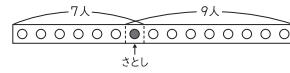
式 $46+8+12=66$

答え (66まい)

算数ワールド

44~45 ページ

1 みんなで 何人 いるでしょうか。

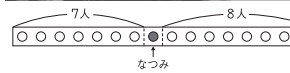


7+9では、
さとしさんを
2回 数える
ことになるね。

式 $7+9-1=15$

答え 15人

2 みんなで 何人 いるでしょうか。

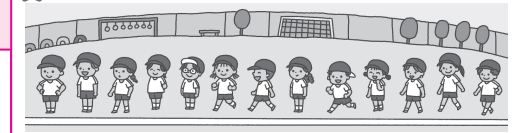


7+8では、
なつみさんを
数えて
いないね。

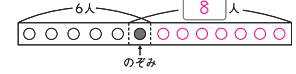
式 $7+8+1=16$

答え 16人

3 うらなうらな場に 子どもが ならんで います。



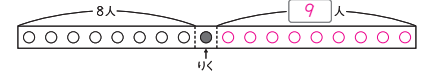
① のぞみさんは、前から 6番めで、後ろからは 8番めです。
みんなで 何人 いるでしょうか。
下の 図を かんせいさせて 答えましょう。



式 $6+8-1=13$

答え (13人)

② 子どもが 何人か ふえました。りくさんの 前には
8人 いて、後ろには 9人 に なりました。
みんなで 何人 に なったでしょうか。
下の 図を かんせいさせて 答えましょう。



式 $8+9+1=18$

答え (18人)

1 さとしさんの後ろには、 $9-1=8$ (人) いることになるので、 $7+9$ から1をひきます。

2 7人と8人になつみさんはふくまれていないので、 $7+8$ に1をたします。

3 ① $6+8$ では、のぞみさんを2回数えてしまうので、1をひきます。

② $8+9$ では、りくさんを数えていないことになってしまうので、1をたします。

7 時こくと 時間

ぴったり 1

46 ページ

つぎの に あてはまる 数や ことばを 書きましょう。

④ めあて 時こくと時間のちがいがわかるようになる。

時こく、時間

時計が あらわす 時こくは 10 時 20 分です。
長い はりが 1 めもり すすむ 時間を 1 分間と いいます。
長い はりが ひとまわりする 時間は 60 分間です。

何時間分が 時こくて、 時こくと 時こくの 間が 時間だよ。

1 おきてから 家を出るまでの 時間は 何分間でしょうか。

とき方 長い はりが 40 めもり すすんで いるので **40** 分間です。

④ めあて 午前・午後、1 日の時間をながれを知ろう。

午前・午後、1 日の 時間

午前・午後は、それぞれ 12 時間です。
1 日は 24 時間です。

2 「夜 10 時に ねる。」ことを、午前か 午後を つけて いきましょう。

とき方 正午から 夜中の 12 時までは、午後です。
「午後 10 時に ねる。」と いいます。

ぴったり 2

47 ページ

1 時計を 見て 答えましょう。

① 家を出た 時こくを 答えましょう。
3 時 30 分

② 家を出てから えきにつくまでの 時間は 何分間でしょうか。
16 分間

④ めあて 2 時こくを 答えましょう。

① 2 時 40 分から 30 分 たった 時こく **3 時 10 分**

② 8 時から 2 時間 たった 時こく **10 時**

3 時こくを、午前か 午後を つけて 答えましょう。

① **午前 7 時 10 分**

② **午後 6 時 45 分**

③ **午後 9 時 30 分**

ぴったり 3

48~49 ページ

知識・技能

① に あてはまる 数を 書きましょう。

① 午前は **12** 時間です。

② 午後は **12** 時間です。

③ 1 日は **24** 時間です。

2 に あてはまる 午前か 午後を つけて 答えましょう。

① **午前 8 時 10 分**

② **午後 0 時 15 分**

3 に あてはまる 数を 書きましょう。

① 1 時間 = **60** 分

② 1 時間 30 分 = **90** 分

③ 100 分 = **1** 時間 **40** 分

思考・判断・表現

④ はるさんは 公園へ あそびに 行きました。

① 公園に いた 時間は 何分間でしょうか。
35 分間

② 公園を出た 時こくを 答えましょう。
3 時 35 分

5 時計を 見て 答えましょう。

① 10 時 10 分から 10 時 40 分までは 何分間でしょうか。
30 分間

② 4 時 55 分から 10 分 たった 時こくを 答えましょう。
5 時 5 分

④ めあて 6 かえでさんは、午前 11 時に 家を出て、2 時間 かけて おばさんの 家につきました。

① おばさんの 家についた 時こくを、午前か 午後を つけて 答えましょう。
午後 1 時

② おばさんの 家を出たのは 午後 3 時でした。
午前 11 時から 午後 3 時までは 何時間でしょうか。
4 時間

ぴったり 1

おうちのかなへ

2 年生では、時刻と時間のちがいを理解することや、午前か午後をつけて時刻を表示できるようになることが目標です。

ぴったり 2

- ① ② 3 時 30 分から 3 時 46 分までは 16 めもりすすんでいるので 16 分間です。
- ② ① 2 時 40 分から、長い はりが 30 めもりすすんだ時こくをもとめます。あと 20 めもりで 3 時です。30 は 20 と 10 だから、3 時か

ら 10 めもりすすんだ時こくて 3 時 10 分です。

② 8 時から、1 時間たつと 9 時、9 時から 1 時間たつと 10 時です。

- ③ 夜中の 12 時から 正午までが 午前、正午から 夜中の 12 時までが 午後です。

しあげの 5 分レッスン

時計があらわす「〇時」や「〇時〇分」が時こく、時こくと時こくの間を時間というよ。

ぴったり 3

- ② ② 正午(ひる 12 時)は午後 0 時です。午後 0 時から 15 分たつた時こくなので、午後 0 時 15 分になります。
- ③ ② 1 時間(60 分)と 30 分で 90 分。
- ③ 100 分は、60 分(1 時間)と 40 分です。→ 1 時間 40 分
- ④ ① 公園についてから公園を出るまでが公園にいた時間です。3 時から 3 時 35 分までは、35 分間です。
- ⑤ ① 10 時 40 分のときの はりを かいてみましょう。長い はりは 30 めもりすすんでいます。

② 長い はりを 10 めもりすすめてみましょう。4 時 55 分から 5 めもりで 5 時、5 時から 5 めもりすすんだ時こくは 5 時 5 分。

- ⑥ ①
- 午前 11 時 → 午後 0 時 → 午後 1 時
- 午後 11 時から 午後 0 時までは 1 時間、午後 0 時から 午後 1 時までは 1 時間、合わせて 2 時間。
- ② 午後 11 時から 正午までは 1 時間、正午から 午後 3 時までは 3 時間なので、1 時間と 3 時間で 4 時間になります。

8 水のかさ

ぴったりに1

50 ページ

つぎの□にあてはまる数を書きましょう。

①めあて かさのたんいLがわかるようになろう。

リットル
かさのたんいにはリットルがあります。
1リットルを1Lと書きます。

②右の水のかさは何Lでしょうか。

とき方 1Lの4こ分で
4Lです。

③めあて かさのたんいdL, mLがわかるようになろう。

デシリットル
1Lを同じかさに10こに分けた1こ分のかさを1デシリットルといい、1dLと書きます。

ミリリットル
dLより小さいかさのたんいにミリリットルがあります。
1ミリリットルは1mLと書きます。

④右の水のかさはどれだけでしょうか。

とき方 1dLの6めもりて6dLです。
また、1dL=100mLだから、600mLです。

ぴったりに2

51 ページ

①水のかさはどれだけでしょうか。

① (3) L (4) dL

② (8) dL (1) L (7) dL

③□にあてはまる数を書きましょう。

① 4L = (40) dL ② 1L 8dL = (18) dL

③ 5dL = (500) mL ④ 3L = (3000) mL

⑤ 27dL = (2) L (7) dL

④□にあてはまる>か<のしるしを書きましょう。

① 23dL < 3L 2dL

② 1L > 100mL

③ 7dL < 800mL

ぴったりに1

52 ページ

つぎの□にあてはまる数を書きましょう。

①めあて かさの計算ができるようになろう。

かさの計算
かさは、たし算、ひいたりすることができます。

$2L\ 4dL + 3L = 5L\ 4dL$

②水が、かんに5L 3dL、バケツに3L入っています。

(1) あわせて何L何dLでしょうか。

(2) ちがいは何L何dLでしょうか。

とき方 (1) あわせてかさは、たし算です。
式 $5L\ 3dL + 3L = 8L\ 3dL$

(2) かさのちがいは、ひき算です。
式 $5L\ 3dL - 3L = 2L\ 3dL$

ぴったりに2

53 ページ

①水が、なべに2L 4dL、コップに3dL入っています。

① あわせて何L何dLでしょうか。
式 $2L\ 4dL + 3dL = 2L\ 7dL$

② ちがいは何L何dLでしょうか。
式 $2L\ 4dL - 3dL = 2L\ 1dL$

②計算をしましょう。

① $2L + 5L = 7L$

② $9dL - 3dL = 6dL$

③ $400mL + 300mL = 700mL$

④ $3L + 1L\ 2dL = 4L\ 2dL$

⑤ $7L\ 8dL - 6dL = 7L\ 2dL$

ぴったりに1

おうちのかたへ

水のかさ(容積)を表す単位を学習します。LとdLとmLのかさの関係を覚えさせてください。

ぴったりに2

- ① 水のかさは、1Lや1dLをもとに、そのいくつか分であらわします。
- ② ① 1L=10dLだから、4L=40dL。
② 1L=10dLだから、1L 8dL=18dL。
③ 1dL=100mLだから、5dL=500mL。

しあげの5分レッスン

1L=10dL、1L=1000mL、1dL=100mLのかんけいをしっかりおぼえよう。

ぴったりに2

- ① 「あわせて」だから、式はたし算です。
同じたんいどうしの計算をします。
 $2L\ 4dL + 3dL = 2L\ 7dL$
- ② 「ちがいは」だから、式はひき算です。
同じたんいどうしの計算をします。
 $2L\ 4dL - 3dL = 2L\ 1dL$
- ② ④ $3L + 1L\ 2dL = 4L\ 2dL$
⑤ $7L\ 8dL - 6dL = 7L\ 2dL$

ぴったり 1

58 ページ

つぎの□にあてはまる記号や数を書きましょう。

①めあて 直角の形をおぼえよう。

直角
右のようなかどの形を直角といいます。

① 直角のかどはどれでしょうか。

とき方 三角じょうぎの直角のかどがぴったりかさなる①が直角です。

②めあて 長方形、正方形、直角三角形はどんな形なのかわかりましょう。

長方形 4つのかどがみんな直角で、むかい合っている辺の長さが同じ四角形

正方形 4つのかどがみんな直角で、4つの辺の長さがみんな同じ四角形

直角三角形 直角のかどがある三角形

② 正方形を見つけましょう。

とき方 4つのかどがみんな直角で、1つの辺の長さがみんな同じ四角形は①です。

ぴったり 2

59 ページ

① かどの形が直角になっているものを見つけましょう。

② 長方形、正方形、直角三角形を見つけましょう。

③ つぎの形を方がんにかきましよう。

① 2つの辺の長さが2cmと4cmの長方形
② 1つの辺の長さが3cmの正方形

ぴったり 3

60~61 ページ

知識・技能 60点

① 形を区別して 三角形、四角形を見つけましょう。

② 長方形、正方形、直角三角形を見つけましょう。

③ □にあてはまる数やことばを書きましょう。

① 三角形に辺は 3 本あります。
② 四角形にちょう点は 4 こあります。
③ 長方形の4つのかどは、みんな 直角 になっています。
④ 直角のある三角形を 直角三角形 といいます。

④ 右の形について答えましょう。

① ①の辺の長さは何cmでしょうか。
② まわりの長さは何cmでしょうか。

⑤ 長方形の紙を、下のようにおって切ります。

① ①の三角形をひらくと、何という形ができるでしょうか。
② ①でできた形のまわりの長さは何cmでしょうか。

ぴったり 1

おうちのかたへ
長方形・正方形・直角三角形の特徴を理解し、見分けられるようにしましょう。

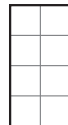
ぴったり 2

- ① 三角じょうぎの直角のかどをあてて直角かどうかたしかめましよう。
- ② ①と②は、直角でないかどがあるので、長方形ではありません。

①と②には、直角のかどがないので、直角三角形ではありません。

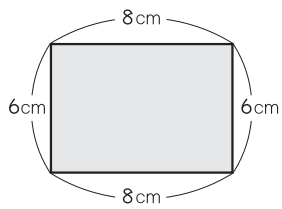
③ 方がんのますは、1つの辺の長さが1cmの正方形になっています。

①の長方形は、右のようにたてになっていてもかまいません。



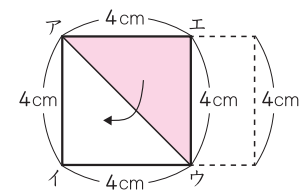
ぴったり 3

- ① 直線が繋がっていなかったり、まがった線のある形は、三角形とも四角形ともいいません。
- ② 長方形と正方形は、4つのかどがみんな直角な四角形です。
- ④ ①長方形のむかい合っている辺の長さは同じです。



② $6\text{cm} + 8\text{cm} + 6\text{cm} + 8\text{cm} = 28\text{cm}$

- ⑤ ①①の三角形をひらくと、下の図のような四角形アイウエができます。おった辺だから、アイとアエの長さは同じで4cm、ウイとウエの長さも4cmです。4つのかどがみんな直角で、4つの辺の長さがみんな同じだから、正方形です。



② $4\text{cm} + 4\text{cm} + 4\text{cm} + 4\text{cm} = 16\text{cm}$

10 かけ算

ぴったりに1

62 ページ

つぎの□にあてはまる数を書きましょう。

① めあて かけ算のいみかわるようになろう。

かけ算
 1つ分の数 $2 \times 3 = 6$
 いくつ分 $2 \times 3 = 6$
 ぜんぶの数
 このことを、式で右のように書きます。
 このような計算をかけ算といいます。

1 かけ算の式にあらわしましょう。

とき方 3本ずつ 6 はこ分だから、 3×6

② めあて かけ算の答えのともめ方

かけ算の答えのともめ方
 3×4 の答えは、 $3+3+3+3$ でもとめることができます。

2 みかんはぜんぶで何こあるでしょうか。
 かけ算の式にあらわして、答えをもとめましょう。

とき方 5こずつ 4 ふくろ分だから、 5×4
 $5+5+5+5 = 20$ でもとめることができるから、
 $5 \times 4 = 20$ (こ)

ぴったりに2

63 ページ

つぎの□にあてはまる数を書きましょう。

① かけ算の式にあらわしましょう。

1 3×2
 2 6×3
 3 8×4

② ゼんぶで何こあるでしょうか。
 かけ算とたし算の2つの式を書きましょう。

1 何を何回かせばいいかな?
 かけ算の式 $2 \times 4 = 8$
 たし算の式 $2+2+2+2=8$
 答え (8こ)

2 かけ算の式 $3 \times 5 = 15$
 たし算の式 $3+3+3+3+3=15$
 答え (15こ)

ぴったりに1

64 ページ

つぎの□にあてはまる数を書きましょう。

① めあて 5のだんと2のだんの九九をおぼえよう。

5のだんの九九

$5 \times 1 = 5$	五一が5
$5 \times 2 = 10$	五二が10
$5 \times 3 = 15$	五三が15
$5 \times 4 = 20$	五四が20
$5 \times 5 = 25$	五五が25
$5 \times 6 = 30$	五六が30
$5 \times 7 = 35$	五七が35
$5 \times 8 = 40$	五八が40
$5 \times 9 = 45$	五九が45

2のだんの九九

$2 \times 1 = 2$	二一が2
$2 \times 2 = 4$	二二が4
$2 \times 3 = 6$	二三が6
$2 \times 4 = 8$	二四が8
$2 \times 5 = 10$	二五が10
$2 \times 6 = 12$	二六が12
$2 \times 7 = 14$	二七が14
$2 \times 8 = 16$	二八が16
$2 \times 9 = 18$	二九が18

このように九九をおぼえよう。

1 5のだんの九九の答えは、いくつずつふえているでしょうか。

九九は、肩にだしておぼえよう。

とき方 $5 \times 1 = 5$ } 5ふえる
 $5 \times 2 = 10$ } 5ふえる
 $5 \times 3 = 15$ } 5ふえる
 ...
 ...
 5のだんの九九の答えは、5、10、15、...とならんでいます。
 5 ずつふえています。

2 2のだんの九九の答えは、いくつずつふえているでしょうか。

とき方 $2 \times 1 = 2$ } 2ふえる
 $2 \times 2 = 4$ } 2ふえる
 $2 \times 3 = 6$ } 2ふえる
 ...
 ...
 2のだんの九九の答えは、2、4、6、...とならんでいます。
 2 ずつふえています。

ぴったりに2

65 ページ

① 計算をしましょう。

① $5 \times 1 = 5$ ② $2 \times 4 = 8$ ③ $2 \times 9 = 18$
 ④ $5 \times 6 = 30$ ⑤ $5 \times 8 = 40$ ⑥ $2 \times 7 = 14$
 ⑦ $5 \times 3 = 15$ ⑧ $2 \times 6 = 12$ ⑨ $5 \times 2 = 10$

2 えんぴつを1人に5本ずつ7人にくばります。
 えんぴつは、ぜんぶで何本いるでしょうか。

式 $5 \times 7 = 35$
 答え (35本)

3 2人ずつの組が5組あります。
 ぜんぶで何人いるでしょうか。

式 $2 \times 5 = 10$
 答え (10人)

ぴったりに1

おうちのかなへ

同じ数のまとまりがいくつかあるとき、かけ算を用います。どんな場面でもかけ算が使えるかをしっかり理解させてください。

ぴったりに2

- ① ① 3この2つ分で、 3×2
 1つ分の数 いくつ分
 ② 6この3つ分で、 6×3
 1つ分の数 いくつ分

③ 8この4つ分で、 8×4
 1つ分の数 いくつ分

- ② ① 2この4つ分です。
 ② 3この5つ分です。

ぴったりに2

- ① 九九をつかって答えをもとめます。
- ① $5 \times 1 \rightarrow$ 五一が5
 ② $2 \times 4 \rightarrow$ 二四が8
 ③ $2 \times 9 \rightarrow$ 二九18
 ④ $5 \times 6 \rightarrow$ 五六30
 ⑤ $5 \times 8 \rightarrow$ 五八40
 ⑥ $2 \times 7 \rightarrow$ 二七14
 ⑦ $5 \times 3 \rightarrow$ 五三15
 ⑧ $2 \times 6 \rightarrow$ 二六12
 ⑨ $5 \times 2 \rightarrow$ 五二10
- 答えをわすれたときは、たし算をつかってもとめることもできます。

- ② $2 \times 4 \rightarrow$ 2の4つ分
 $\rightarrow 2+2+2+2=8$
- ③ 5本の7人分だから、式は、
 $5 \text{本の} 7 \text{人分} = 35 \text{(本)}$
 1つ分の数 いくつ分
- ④ 2人の5組分だから、式は、
 $2 \text{人の} 5 \text{組分} = 10 \text{(人)}$
 1つ分の数 いくつ分

あけの5分レッスン

5のだんと2のだんの九九をあんきしよう。

ぴったりに 1

66 ページ

つぎの□にあてはまる数を書きましょう。

③ めあて 3のだんと4のだんの九九をおぼえよう。

3のだんの九九			4のだんの九九				
3×1=3	三一	が	3	4×1=4	四一	が	4
3×2=6	三二	が	6	4×2=8	四二	が	8
3×3=9	三三	が	9	4×3=12	四三	が	12
3×4=12	三四	が	12	4×4=16	四四	が	16
3×5=15	三五	が	15	4×5=20	四五	が	20
3×6=18	三六	が	18	4×6=24	四六	が	24
3×7=21	三七	が	21	4×7=28	四七	が	28
3×8=24	三八	が	24	4×8=32	四八	が	32
3×9=27	三九	が	27	4×9=36	四九	が	36

3×9の式で、3をかけられる数といい、9をかける数といいます。

1 3×5の答えは、3×4の答えよりいくつ大きいですか。

とき方 3×4=12
1ふえる | 3ふえる
3×5=15
3×5の答えは、3×4の答えより 3 大きい。

2 4×4の答えは、4×3の答えよりいくつ大きいですか。

とき方 4×3=12
1ふえる | 4ふえる
4×4=16
4×4の答えは、4×3の答えより 4 大きい。

ぴったりに 2

67 ページ

1 計算をしましょう。

① 4×2 8 ② 3×7 21 ③ 4×6 24

④ 4×8 32 ⑤ 3×9 27 ⑥ 3×8 24

⑦ 3×3 9 ⑧ 4×7 28 ⑨ 4×9 36

2 ケーキが4こずつ入ったのは5こあります。ケーキはぜんぶで何こあるでしょうか。

式 4×5=20
答え (20 こ)

3 右の絵を見て、5×4の式になるかけ算のもんだいをつくりましょう。

「風船を 5 こずつもった子どもが 4 人います。風船は、ぜんぶで何こあるでしょうか。」

ぴったりに 3

68~69 ページ

1 ケーキが2こずつのったさがら、5さらあります。ケーキはぜんぶで何こあるか考えます。□にあてはまる数を書きましょう。

2こずつ5さら分て10こになります。このことを、式でつぎのように書きます。
2×^①5 = ^②10
2×5の答えは、^③2 + ^④2 + 2 + 2 + 2でもとめることもできます。

2 □にあてはまる数を書きましょう。

① 4×6の答えは、4×5の答えより 4 大きいです。
② 3のだんの答えは、3 ずつ大きくなります。

3 計算をしましょう。

① 2×3 6 ② 5×4 20
③ 5×5 25 ④ 3×9 27
⑤ 4×4 16 ⑥ 2×8 16
⑦ 3×6 18 ⑧ 4×7 28

思考・判断・表現

4 絵を見て、下の式になるかけ算のもんだいをつくりましょう。

4×6
1つに4人がのった電車ののりものが、6つつながっています。ぜんぶで何人のっているでしょうか。

5 ノートを1人に3こずつ5人にくばります。ノートはぜんぶで何こあるでしょうか。

式 3×5=15
答え (15 びつ)

6 4人ずつわられるいすが8つあります。

① ぜんぶで何人すわられるでしょうか。
式 4×8=32
答え (32 人)

② いすが1つふえると、すわられる人数は何人ふえるでしょうか。
答え (4 人)

7 4×5をあらわしている図を、ぜんぶえらびましょう。

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

答え (①、⑥)

ぴったりに 1

おうちのかたへ
九九の暗記は、九九のカードを作って、すらすらと言えるようになるまでくり返し練習させましょう。

ぴったりに 2

1 3のだんと4のだんの九九をおぼえましょう。

① 四二が8 ② 三七 21
③ 四六 24 ④ 四八 32
⑤ 三九 27 ⑥ 三八 24
⑦ 三三が9 ⑧ 四七 28
⑨ 四九 36

2 4この5は5分だから、
4 × 5 = 20(こ)
↑ ↑
1つ分いくつ分
の数 の数

3 5ずつが4つ分あるものを絵からさがします。「風船は、ぜんぶで何こあるでしょうか。」とあるので、風船の数にちゅうもくして、もんだいをつくりましょう。

あけの5分レッスン
みのまわりのいろいろなものを見て、かけ算のもんだいをつくりましょう。

ぴったりに 3

1 2×5は、2を5回たすことと同じです。

2 4のだんでは4ずつ、3のだんでは3ずつ答えがふえます。

3 2のだん、3のだん、4のだん、5のだんの九九をくりかえしれんしゅうしましょう。

4 4ずつ6つ分ある場面を絵からさがします。

5 3こずつ5人分だから、
3 × 5 = 15(さつ)
↑ ↑ ↑
1つ分いくつ分 ぜんぶ
の数 の数

6 ① 4人ずつ8つ分だから、
4 × 8 = 32(人)
↑ ↑ ↑
1つ分いくつ分 ぜんぶ
の数 の数

② 4のだんの答えは、4ずつふえます。

7 4×5は、4この5つ分をあらわしています。

③は、1つ分の形がちがいますが、1つ分の大きさは、どれも4こで同じなので、4×5とあらわせます。

11 かけ算九九づくり

ぴったりに1

70 ページ

つぎの□にあてはまる数を書きましょう。

⑥めあて 6のだんと7のだんの九九をおぼえよう。

6のだんの九九			7のだんの九九		
6×1=6	六一が六	6×2=12	六二が十二	7×1=7	七一が七
6×3=18	六三が十八	6×4=24	六四が二十四	7×2=14	七二が十四
6×5=30	六五が三十	6×6=36	六六が三十六	7×3=21	七三が二十一
6×7=42	六七が四十二	6×8=48	六八が四十八	7×4=28	七四が二十八
6×9=54	六九が五十四	7×5=35	七五が三十五	7×6=42	七六が四十二
		7×7=49	七七が四十九	7×8=56	七八が五十六
		7×9=63	七九が六十三		

1 つぎのだんの九九で、かける数が1ふえると、答えはいくつふえるでしょうか。

(1) 6のだん (2) 7のだん

とき方

(1) :	6×3=18	(2) :	7×3=21
1ふえる	6	1ふえる	7
6×4=24		7×4=28	
1ふえる	6	1ふえる	7
6×5=30		7×5=35	
:		:	

6のだんでは、答えは **6** ずつふえます。 7のだんでは、答えは **7** ずつふえます。

ぴったりに2

71 ページ

1 計算をしましょう。

① 7×2 **14** ② 6×7 **42** ③ 7×8 **56**

④ 7×9 **63** ⑤ 6×8 **48** ⑥ 6×9 **54**

⑦ 6×6 **36** ⑧ 7×7 **49** ⑨ 7×6 **42**

2 つぎの九九を答えましょう。

① 6×2と同じ答えになる4のだんの九九 **4×3**

② 6×4と同じ答えになる3のだんの九九 **3×8**

3 1週間は7日あります。3週間では、何日あるでしょうか。

とき方

8のだんはいくつずつふえるか？

8のだんでは、答えは **8** ずつふえます。

9のだんでは、答えは **9** ずつふえます。

答え (**21** 日)

ぴったりに1

72 ページ

つぎの□にあてはまる数を書きましょう。

⑥めあて 8のだんと9のだんの九九をおぼえよう。

8のだんの九九			9のだんの九九		
8×1=8	八一が八	8×2=16	八二が十六	9×1=9	九一が九
8×3=24	八三が二十四	8×4=32	八四が三十二	9×2=18	九二が十八
8×5=40	八五が四十	8×6=48	八六が四十八	9×3=27	九三が二十七
8×7=56	八七が五十六	8×8=64	八八が六十四	9×4=36	九四が三十六
8×9=72	八九が七十二	9×5=45	九五が四十五	9×6=54	九六が五十四
		9×7=63	九七が六十三	9×8=72	九八が七十二
		9×9=81	九九が八十一		

1 つぎのだんの九九で、かける数が1ふえると、答えはいくつふえるでしょうか。

(1) 8のだん (2) 9のだん

とき方

(1) :	8×3=24	(2) :	9×3=27
1ふえる	8	1ふえる	9
8×4=32		9×4=36	
1ふえる	8	1ふえる	9
8×5=40		9×5=45	
:		:	

8のだんでは、答えは **8** ずつふえます。 9のだんでは、答えは **9** ずつふえます。

ぴったりに2

73 ページ

1 計算をしましょう。

① 8×2 **16** ② 8×7 **56** ③ 9×6 **54**

④ 9×2 **18** ⑤ 8×6 **48** ⑥ 8×8 **64**

⑦ 9×4 **36** ⑧ 9×8 **72** ⑨ 9×9 **81**

2 えんぴつが8本ずつ入ったはこを、かえでさんは3はこ、みなとさんは4はこもっています。えんぴつは、あわせて何本あるでしょうか。

とき方

(れい) $3+4=7$
 $8 \times 7=56$

答え (**56** 本)

3 あつさ9mmの本を5つかさねます。

① ぜんぶのあつさは何mmになるでしょうか。

とき方 $9 \times 5=45$

答え (**45** mm)

② 同じ本をもう1さつかさねると何mmになるでしょうか。

答え (**54** mm)

ぴったりに1

おうちのかたへ

「かける数が1ふえると、答えはかけられる数だけふえる」ことを用いて、かけ算九九の答えが求められることに気づかせましょう。

ぴったりに2

1 6のだん、7のだんの九九をおぼえましょう。

- ① 七二 14 ② 六七 42
③ 七八 56 ④ 七九 63
⑤ 六八 48 ⑥ 六九 54
⑦ 六六 36 ⑧ 七七 49

⑨ 七六 42

- 2 ① $6 \times 2 = 12$
答えが12になる4のだんの九九は、 $4 \times 3 = 12$
② $6 \times 4 = 24$
答えが24になる3のだんの九九は、 $3 \times 8 = 24$

3 3週間は、7日の3つ分です。

ぴったりに2

1 8のだん、9のだんの九九をおぼえましょう。

- ① 八二 16 ② 八七 56
③ 九六 54 ④ 九二 18
⑤ 八六 48 ⑥ 八八 64
⑦ 九四 36 ⑧ 九八 72
⑨ 九九 81

2 2人がもっているはこの数をあわせると、 $3+4=7$ (はこ) 7はこ分のえんぴつの数は、 $8 \times 7=56$ (本) 2人それぞれがもっているえんぴつ

の本数を先にもとめてもよいです。

かえでさんは、 $8 \times 3=24$ (本) みなとさんは、 $8 \times 4=32$ (本) 2人あわせて、 $24+32=56$ (本)

3 ① あつさもかけ算でもとめることができます。

② 9mmふえるから、 $45+9=54$ (mm) または、本の数は、 $5+1=6$ (さつ) になるから、 $9 \times 6=54$ (mm)

つぎの□にあてはまる数を書きましょう。

①めあて 1のだんの九九をおぼえよう。

1×1=1	一が	1
1×2=2	二が	2
1×3=3	三が	3
1×4=4	四が	4
1×5=5	五が	5
1×6=6	六が	6
1×7=7	七が	7
1×8=8	八が	8
1×9=9	九が	9

みかんを1人に1こずつくばります。6人分では、みかんは何こいるでしょうか。

とき方 かけ算の式を書いておとめします。

式 $1 \times 6 = 6$ 答え 6 こ

②めあて 2倍、3倍のいみやつかい方がわかるようになろう。

倍 もとの長さの2つ分のことを2倍、3つ分のことを3倍といいます。1倍は、1つ分のことです。

2 4cmの3倍の長さは何cmでしょうか。

とき方 4cmの3つ分の長さです。

式 $4 \times 3 = 12$ 答え 12 cm

計算をしましょう。

① $1 \times 2 = 2$ ② $1 \times 6 = 6$ ③ $1 \times 8 = 8$

④ $1 \times 5 = 5$ ⑤ $1 \times 7 = 7$ ⑥ $1 \times 4 = 4$

② えんぴつを1本ずつ9人にくばります。えんぴつは何本いるでしょうか。

式 $1 \times 9 = 9$ 答え 9 本

③めあて 3cmの4倍の長さになるように、色をぬりましょう。また、3cmの4倍の長さを、かけ算でもとめましょう。

3cmの4倍の長さを、かけ算でもとめましょう。

式 $3 \times 4 = 12$ 答え 12 cm

④ 何この何倍でしょうか。また、何こあるでしょうか。

式 $2 \times 5 = 10$ 答え 10 こ

つぎの□にあてはまる数を書きましょう。

①めあて みのまわりの場面を、かけ算をつかって考えられるようになろう。

ゼリーが、1れつに3こずつ、5れつ分入っています。7こ食べると、のこりは何こになるでしょうか。

とき方 ゼリーがぜんぶで何こあるかをかけ算でもとめます。

$3 \times 5 = 15$ 答え 15 こ

ゼリーの数から食べる数をひきます。

$15 - 7 = 8$ 答え 8 こ

②めあて かけ算をつかって、くふうしてもとめられるようになろう。

右の図のような●の数も、分けたり、いどうしたりして、同じ数のまとまりをつくと、かけ算をつかって計算することができます。

2 上の図の●の数をくふうしてもとめましょう。

とき方 (1) 2つのまとまりに分けます。

$4 \times 3 = 12$ $2 \times 3 = 6$

$12 + 6 = 18$

(2) 全体の数から、あいている数をひきます。

$4 \times 6 = 24$ $2 \times 3 = 6$

$24 - 6 = 18$

(3) 6こずつの同じ数のまとまりに分けます。

$6 \times 3 = 18$

みなとさんの学級には、4人のはんが6つと、5人のはんが2つあります。学級の人数は、ぜんぶで何人でしょうか。

式 $4 \times 6 = 24$
 $5 \times 2 = 10$
 $24 + 10 = 34$ 答え 34 人

②めあて 1つの辺の長さが6cmの、正方形のおりがみがあります。

① まわりの長さは、1つの辺の長さの何倍でしょうか。

式 $6 \times 4 = 24$ 答え 24 cm

② この正方形のまわりの長さは何cmでしょうか。

式 $6 \times 4 = 24$ 答え 24 cm

③めあて ●の数を、くふうしてもとめましょう。

①

式 $(れい) 3 \times 5 = 15$ 答え 15 こ

②

式 $(れい) 3 \times 9 = 27$
 $27 - 3 = 24$ 答え 24 こ

おうちのかたへ

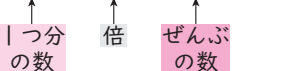
3個の4倍も、 $3 \times 4 = 12$ というように、かけ算で答えをもとめられることを理解させてください。

- ① 1のだんの九九の答えは、かける数と同じになります。1のだんの九九をおぼえましょう。
- ①一ニが2 ②一六が6
③一八が8 ④一五が5
⑤一七が7 ⑥一四が4
- ② 1つ分の数が1で、いくつ分の数が

9のかけ算になります。かけ算の式にちゅういしましょう。

- ③ 3cmの4つ分を、3cmの4倍といえます。

$3 \times 4 = 12$ (cm)



- ④ 2この5倍の数をもとめるときは、かけ算をつかいます。

$2 \times 5 = 10$ (こ)



おうちのかたへ

身のまわりの場面を、かけ算とたし算・ひき算を使って考えられるようにしましょう。

- ① かけ算とたし算をつかって、学級の人数をもとめます。
- ② ①まわりの長さは、1つの辺の長さの4倍の長さになります。
- ②正方形の1つの辺の長さは6cmだから、 $6 \times 4 = 24$ (cm)
- ↑ 1辺の長さ ↑ 倍 ↑ まわりの長さ

- ③ いろいろな考え方がありません。

①(れい)

$5 \times 3 = 15$ (こ)

②(れい1)

$3 \times 8 = 24$ (こ)

(れい2)

$3 \times 2 = 6$

$6 \times 3 = 18$

$6 + 18 = 24$ (こ)

ぴったり3

78~79 ページ

知識・技能 / 56点

1 はるさんは、 8×4 の答えをつぎのように考えてもとめました。
□にあてはまる数を書きましょう。

8×4 の答えは、 8×3 の答えより ① **8** 大きいです。

$8 \times 3 =$ ② **24** だから、 8×4 の答えは、

$24 +$ ③ **8** $=$ ④ **32**

2 ①く②出③ 計算をしましょう。

① 6×4 **24** ② 7×4 **28**

③ 9×3 **27** ④ 8×5 **40**

⑤ 7×7 **49** ⑥ 9×7 **63**

⑦ 1×3 **3** ⑧ 8×9 **72**

思考・判断・表現 / 44点

3 ①く②出③ 6こ入りのたこやきのさらが3つあります。
たこやきは、ぜんぶで何こあるでしょうか。

式 $6 \times 3 = 18$

答え (**18** こ)

4 あおさんは7さいで、おかあさんの年れいは、あおさんの年れいの5倍です。おかあさんは何さいでしょうか。

式 $7 \times 5 = 35$

答え (**35** さい)

5 ①く②出③ 1つの辺の長さが9cmの正方形があります。

① 正方形のまわりの長さは、1つの辺の長さの何倍でしょうか。

(**4** 倍)

② この正方形のまわりの長さは何cmでしょうか。

式 $9 \times 4 = 36$

答え (**36** cm)

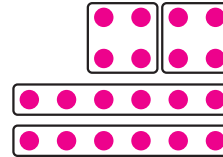
6 ●は何こあるでしょうか。くふうしてもとめましょう。

式 (れい) $4 \times 5 = 20$

答え (**20** こ)

6 いろいろくふうしてもとめてみましょう。

(れい 1)

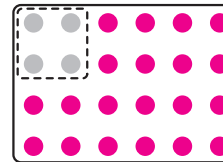


$4 \times 2 = 8$

$6 \times 2 = 12$

$8 + 12 = 20$ (こ)

(れい 2)



$4 \times 6 = 24$

$24 - 4 = 20$ (こ)

ぴったり3

1 8のだんの答えが8ずつふえていることをつかって、 8×4 の答えを考えましょう。

2 6のだん、7のだん、8のだん、9のだん、1のだんの九九をくりかえしれんしゅうしましょう。

① 六四 24

② 七四 28

③ 九三 27

④ 八五 40

⑤ 七七 49

⑥ 九七 63

⑦ 一三 3

⑧ 八九 72

3 ①く②出③ 1つ分の数は6、いくつ分は3になります。

4 7さいの5倍は、7さいの5つ分のことです。

5 ①正方形は4つの辺の長さがみんな同じなので、まわりの長さは1つの辺の長さの4倍になります。

②正方形の1つの辺の長さは9cmなので、その4倍の長さをかけ算でもとめます。

12 長いものの長さ

ぴったりに 1

80 ページ

つぎの□にあてはまる数を書きましょう。

① 長さのたんい m がわかるようになろう。

メートル
100 cm を 1メートルといい、 $1\text{ m} = 100\text{ cm}$ と書きます。

1 130 cm は何 m 何 cm でしょうか。

とき方 130 cm は、100 cm と 30 cm。
100 cm が 1 m だから、130 cm は $1\text{ m } 30\text{ cm}$

② □にあてはまる数を書きましょう。

① 300 cm = 3 m
② 580 cm = $5\text{ m } 80\text{ cm}$
③ 4 m 27 cm = 427 cm ④ 9 m 2 cm = 902 cm

③ □にあてはまる数を書きましょう。

① $1\text{ m } 40\text{ cm} + 30\text{ cm} = 1\text{ m } 70\text{ cm}$
② $3\text{ m } 80\text{ cm} - 70\text{ cm} = 3\text{ m } 10\text{ cm}$

④ 長さが $1\text{ m } 90\text{ cm}$ のリボンが 65 cm つかいました。
のこりは何 m 何 cm でしょうか。
式 $1\text{ m } 90\text{ cm} - 65\text{ cm} = 1\text{ m } 25\text{ cm}$
答え $(1\text{ m } 25\text{ cm})$

ぴったりに 2

81 ページ

① テーブルのよこの長さをはかったら、1 m のものさして、2 公分と、あと 20 cm ありました。
テーブルのよこの長さは何 m 何 cm でしょうか。
また、何 cm でしょうか。

($2\text{ m } 20\text{ cm}$) (220 cm)

② □にあてはまる数を書きましょう。

① 300 cm = 3 m
② 580 cm = $5\text{ m } 80\text{ cm}$
③ 4 m 27 cm = 427 cm ④ 9 m 2 cm = 902 cm

③ □にあてはまる数を書きましょう。

① $1\text{ m } 40\text{ cm} + 30\text{ cm} = 1\text{ m } 70\text{ cm}$
② $3\text{ m } 80\text{ cm} - 70\text{ cm} = 3\text{ m } 10\text{ cm}$

④ 長さが $1\text{ m } 90\text{ cm}$ のリボンが 65 cm つかいました。
のこりは何 m 何 cm でしょうか。
式 $1\text{ m } 90\text{ cm} - 65\text{ cm} = 1\text{ m } 25\text{ cm}$
答え $(1\text{ m } 25\text{ cm})$

ぴったりに 3

82~83 ページ

知識・技能

① ① つぎの長さは何 m 何 cm でしょうか。
① 1 m のものさして 1 公分と、あと 60 cm
($1\text{ m } 60\text{ cm}$)
② 1 m のものさして 2 公分と、あと 54 cm
($2\text{ m } 54\text{ cm}$)

② □にあてはまる長さのたんいを書きましょう。

① つくえの高さ 60 cm
② ノートのあつさ 4 mm
③ プールのたての長さ 25 m

③ □にあてはまる数を書きましょう。

① $3\text{ m} = 300\text{ cm}$
② $700\text{ cm} = 7\text{ m}$
③ $5\text{ m } 75\text{ cm} = 575\text{ cm}$
④ $403\text{ cm} = 4\text{ m } 3\text{ cm}$

④ □にあてはまる数を書きましょう。

① $1\text{ m } 60\text{ cm} + 2\text{ m} = 3\text{ m } 60\text{ cm}$
② $1\text{ m } 35\text{ cm} + 3\text{ m } 15\text{ cm} = 4\text{ m } 50\text{ cm}$
③ $2\text{ m } 80\text{ cm} - 46\text{ cm} = 2\text{ m } 34\text{ cm}$
④ $4\text{ m } 75\text{ cm} - 2\text{ m } 50\text{ cm} = 2\text{ m } 25\text{ cm}$

⑤ へやのたての長さをはかったら、3 m 20 cm とあと 40 cm ありました。へやのたての長さは何 m 何 cm でしょうか。
式 $3\text{ m } 20\text{ cm} + 40\text{ cm} = 3\text{ m } 60\text{ cm}$
答え $(3\text{ m } 60\text{ cm})$

⑥ テーブルのたての長さは、1 m のものさしより 15 cm みじかい長さでした。テーブルのたての長さは何 cm でしょうか。
式 $1\text{ m} - 15\text{ cm} = 85\text{ cm}$
答え (85 cm)

ぴったりに 1

おうちのかなへ

m の単位を学んだところで、長さの単位の関係をしっかりおぼえさせましょう。
 $1\text{ m} = 100\text{ cm}$ $1\text{ cm} = 10\text{ mm}$

ぴったりに 2

- ① 1 m が 2 公分で 2 m、2 m と 20 cm で 2 m 20 cm。1 m = 100 cm だから、2 m = 200 cm。2 m 20 cm は、200 cm と 20 cm で 220 cm。
② ② 580 cm は、500 cm と 80 cm。500 cm = 5 m なので、5 m と 80 cm で 5 m 80 cm。

- ③ 4 m = 400 cm なので、400 cm と 27 cm で 427 cm。
④ 9 m = 900 cm なので、900 cm と 2 cm で 902 cm。
③ おなじたんいどうしの計算をします。
① $1\text{ m } 40\text{ cm} + 30\text{ cm} = 1\text{ m } 70\text{ cm}$
② $3\text{ m } 80\text{ cm} - 70\text{ cm} = 3\text{ m } 10\text{ cm}$
④ のこりの長さをもとめるので、ひき算をつかいます。
 $1\text{ m } 90\text{ cm} - 65\text{ cm} = 1\text{ m } 25\text{ cm}$

ぴったりに 3

- ① ① 1 m と 60 cm で 1 m 60 cm。
② 1 m が 2 公分で 2 m。2 m と 54 cm で 2 m 54 cm。
② だいたい長さを考えて、あてはまるたんいをえらびましょう。
③ ② 100 cm = 1 m だから、700 cm = 7 m。
③ 5 m = 500 cm だから、500 cm と 75 cm で 575 cm。
④ 403 cm は、400 cm と 3 cm。400 cm = 4 m だから、4 m と 3 cm で 4 m 3 cm。

- ④ ① $1\text{ m } 60\text{ cm} + 2\text{ m} = 3\text{ m } 60\text{ cm}$
② $1\text{ m } 35\text{ cm} + 3\text{ m } 15\text{ cm} = 4\text{ m } 50\text{ cm}$
③ $2\text{ m } 80\text{ cm} - 46\text{ cm} = 2\text{ m } 34\text{ cm}$
④ $4\text{ m } 75\text{ cm} - 2\text{ m } 50\text{ cm} = 2\text{ m } 25\text{ cm}$
⑤ $3\text{ m } 20\text{ cm} + 40\text{ cm} = 3\text{ m } 60\text{ cm}$
⑥ $1\text{ m} = 100\text{ cm}$ だから、
 $100\text{ cm} - 15\text{ cm} = 85\text{ cm}$
テーブルのたての長さ 15 cm みじかい

13 九九の表

ぴったりに1

84 ページ

つぎの□にあてはまる数を書きましょう。

めあて かけ算のきまりをおぼえよう。

かけ算のきまり

かける数が1ふえると、答えはかけられる数だけふえます。

かけられる数 かける数
 $2 \times 3 = 6$
 1ふえる
 $2 \times 4 = 8$

かけられる数 かける数 答え
 $2 \times 3 = 6$
 $3 \times 2 = 6$

1 6×5 の答えは、 6×4 の答えよりいくつ大きいですか。

とき方 6×5 のかける数は5、 6×4 のかける数は4です。

かける数が1大きいから、答えはかけられる数の6大きくなります。

2 答えが同じになる九九をもとめましょう。
 (1) 7×5 (2) 4×8

とき方 かけられる数とかける数を入れかえても、答えは同じになります。

(1) かけられる数 かける数 (2) かけられる数 かける数
 7×5 4×8
 5×7 8×4

(1)の答えは35、(2)の答えは32だね。

ぴったりに2

85 ページ

つぎの□にあてはまる数を書きましょう。

1 3×7 の答えは、 3×6 の答えより3大きい。

2 8×4 の答えは、 8×3 の答えより8大きい。

2 何のだんの九九でしょうか。

1 かける数が1ふえると、答えは4ふえる。(4のだん)

2 かける数が1ふえると、答えは7ふえる。(7のだん)

3 答えが同じかけ算を、線でおすびましよう。

2×9 7×3 8×5
 5×8 9×2 3×7

答えをもとめたいで考えよう。

3 まちがいちゅうい!

4 2のだんと3のだんの答えをたすと、何のだんの答えになるでしょうか。

2×4
 3×4 } 5×4

5のだん

ぴったりに1

86 ページ

つぎの□にあてはまる数を書きましょう。

めあて 九九のきまりをつかって、九九の表を広げてみよう。

大きな数のかけ算

かけ算のきまりをつかると、大きな数のかけ算の答えをもとめることができます。

1 3×10 の答えをもとめましょう。

とき方 かけ算のきまりをつかって考えます。

考え方1 3×10 の答えは、 3×9 の答えより3大きい。
 $3 \times 9 = 27$
 1ふえる | 3ふえる
 $3 \times 10 = 30$

考え方2 3×10 の答えは、 10×3 の答えと同じ。
 10×3 は、10が3こ分だから、
 $10 + 10 + 10 = 30$
 $3 \times 10 = 30$

2 11×3 の答えをもとめましょう。

とき方 11×3 の答えは、 3×11 の答えと同じ。
 3×11 の答えは、 3×10 の答えより3大きい。
 $3 \times 10 = 30$
 1ふえる | 3ふえる
 $3 \times 11 = 33 \rightarrow 11 \times 3 = 33$

11が3こ分の考え方で計算してみよう。

ぴったりに2

87 ページ

1 くふうして答えをもとめましょう。

① 5×9 45 ② 5×10 50
 ③ 5×11 55 ④ 5×12 60

2 くふうして答えをもとめましょう。

① 9×5 45 ② 10×5 50
 ③ 11×5 55 ④ 12×5 60

3 下の九九の表の①から④にあてはまる数を書きましょう。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
2	2	4	6	8	10	12	14	16	18			
3	3	6	9	12	15	18	21	24	27			
4	4	8	12	16	20	24	28	32	36	①		
5	5	10	15	20	25	30	35	40	45			
6	6	12	18	24	30	36	42	48	54			
7	7	14	21	28	35	42	49	56	63		②	
8	8	16	24	32	40	48	56	64	72			
9	9	18	27	36	45	54	63	72	81			
10												
11												
12												

① (40)
 ② (84)
 ③ (66)
 ④ (96)

ぴったりに1

おうちのかたへ

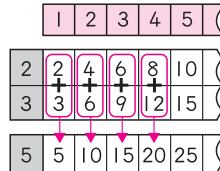
かけ算のきまりは、九九より大きなかけ算を学ぶ上でとても大切です。しっかりおぼえさせてください。

ぴったりに2

- 1 かけ算では、かける数が1ふえると、答えはかけられる数だけふえます。
- 2 「かける数が1ふえると、答えはかけられる数だけふえる」というかけ算のきまりをつかって考えましょう。
- ① 答えは4ふえる→かけられる数は4(4のだん)

② 答えは7ふえる→かけられる数は7(7のだん)

- 3 かけ算では、かけられる数とかける数を入れかえても、答えは同じになります。
- 4 2のだんと3のだんの答えをたすと、(2+3=)5のだんの答えになります。



ぴったりに1

おうちのかたへ

かける数が10より大きいかけ算の答えの求め方を考えます。かけ算九九のきまりを使って、いろいろな方法で求められるようにしましょう。

ぴったりに2

- 1 5のだんの答えは、かける数が1ふえると、5ずつふえます。
- 2 かけ算では、かけられる数とかける数を入れかえても、答えは同じです。また、たし算でもとめることもできます。

- 3 ① $7 \times 9 = 63$ の63より、
 $7 + 7 + 7 = 21$ 大きい数なので、
 $63 + 21 = 84$
- ② 11×6 と 6×11 は答えが同じです。
 $6 \times 9 = 54$ の54より $6 + 6 = 12$ 大きい数なので、
 $54 + 12 = 66$
 また、 11×6 は11が6こ分なので、
 $11 + 11 + 11 + 11 + 11 + 11 = 66$

しるべの5分レッスン

かけ算のきまりをじょうずにつかって、大きい数のかけ算の答えをもとめよう。

知識・技能 / 60点

1 ① 出題 〇にあてはまる数を書きましょう。 1つ5点(30点)

① 7×9 の答えは 7×8 の答えより **7** 大きいです。

② 6×7 の答えは $6 \times$ **6** の答えより6大きいです。

③ 8のだんでは、かける数が1ふえると、答えは **8** ふえます。

④ 9×3 の答えは $3 \times$ **9** の答えと同じです。

⑤ 6×8 の答えは、 2×8 の答えと $4 \times$ **8** の答えをたした数と同じです。

⑥ 3のだんと4のだんの答えをたすと、**7** のだんの答えになります。

2 ① 出題 つぎの答えになる九九をぜんぶ書きましょう。 1つ10点(30点)

① 15 $(3 \times 5, 5 \times 3)$

② 24 $(3 \times 8, 4 \times 6, 6 \times 4, 8 \times 3)$

③ 36 $(4 \times 9, 6 \times 6, 9 \times 4)$

思考・判断・表現 / 40点

3 右の九九の表の⑥から②にあてはまる数を書きましょう。 1つ5点(20点)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	2	3	4	5	6	7	8	9			
2	4	6	8	10	12	14	16	18			
3	6	9	12	15	18	21	24	27			⑥
4	8	12	16	20	24	28	32	36			
5	10	15	20	25	30	35	40	45			
6	12	18	24	30	36	42	48	54			
7	14	21	28	35	42	49	56	63			⑤
8	16	24	32	40	48	56	64	72			
9	18	27	36	45	54	63	72	81			
10									③		
11											
12											②

① (**36**)
② (**77**)
③ (**70**)
④ (**72**)

4 下の表は、九九の表の一部分です。 1つ10点(20点)

⑥		30	
30			⑤

① (**20**) ② (**42**)

5 算数メモ / 40点

1 ① 10×9 の答えをもとにして、答えをもとめましよう。 1つ10点(40点)

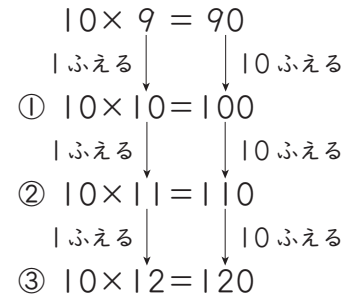
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
10	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	

① $10 \times 10 =$ **100** ② $10 \times 11 =$ **110**
③ $10 \times 12 =$ **120**

- 1 ① かける数が8から9へ1ふえると、答えは、かけられる数の7ふえます。
- ② 答えがかけられる数だけふえているから、かける数が1ふえています。
- ③ かけ算では、かける数が1ふえると、答えはかけられる数だけふえます。
- ④ かけ算では、かけられる数とかけられる数を入れかえても、答えは同じになります。

- ⑤ 6のだんの答えは、2のだんと、4のだんの答えをたした数になります。
- ⑥ 3のだんと4のだんの答えをたすと、 $(3+4=)$ 7のだんの答えになります。
- 2 九九を1つ見つけたら、かけられる数とかける数を入れかえて、もう1つ見つけることができます。
- ③ 6×6 をわすれないようにしましょう。

- 3 ① $3 \times 9 = 27$ の27より、 $3+3+3=9$ 大きい数なので、 $27+9=36$
- ② $7 \times 9 = 63$ の63より、 $7+7=14$ 大きい数なので、 $63+14=77$
- ③ 10×7 と 7×10 は答えが同じです。
 $7 \times 9 = 63$ の63より、7大きい数なので、 $63+7=70$
また、 10×7 は10が7こ分なので、 $10+10+10+10+10+10+10=70$
- ④ 12×6 と 6×12 は答えが同じです。
 $6 \times 9 = 54$ の54より、 $6+6+6=18$ 大きい数なので、 $54+18=72$
また、 12×6 の答えは、 4×6 と 8×6 の答えをたしたものと考えて、
 $24 + 48 = 72$
 $4 \times 6 \quad 8 \times 6$
ともとめることもできます。



- 4 九九の表から30のならび方にちゅうもくして、数をあてはめます。
- 5 ① $10 \times 9 = 90$ をもとにして考えます。

14 はこの形

ぴったりに 1

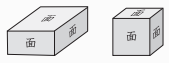
90 ページ

つぎの□にあてはまることばや数を書きましょう。

めあて はこの形の面のいみや面の数がわかるようになろう。

👁️

面
はこの形のたいらなところを、面とい
います。



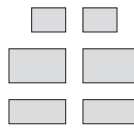
1 右のはこの形には、どんな形の面がいくつ
あるでしょうか。



🔍 ぜんぶの面をうつし
とってみると、右のよう
になります。

面の形 **長方形**

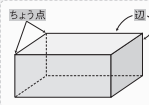
面の数 **6**



めあて はこの形の辺やちょう点のいみや、辺やちょう点の数がわかるようになろう。

👁️

辺、ちょう点
面と面の間の直線を、辺とい
います。
3つの辺があつまったところを、
ちょう点とい
います。



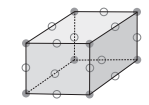
2 はこの形には、辺、ちょう点
がいくつあるでしょうか。

🔍 右の○のところ
が辺、

●のところ
がちょう点です。

辺の数 **12**

ちょう点の数 **8**

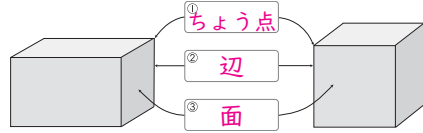


ぴったりに 2

91 ページ

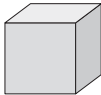
1 □にあてはまることばを書きましょう。

教科書 67ページ 170ページ



2 下のようないろいろの形には、面、辺、ちょう点
は、それぞれいくつあるでしょうか。

さいころの形
の面の形は
ぜんぶが正方形
だよ。



面 (**6**)
辺 (**12**)
ちょう点 (**8**)



🔍 右のような、
はこの形があります。

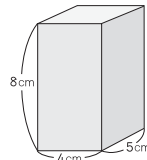
教科書 70ページ

① 8cmの辺はいくつあるでしょうか。

(**4**)

② 5cmの辺はいくつあるでしょうか。

(**4**)



ぴったりに 1

🏠 おうちのかたへ

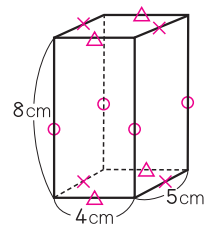
箱の形(直方体)やさいころの形(立方体)の
ような立体図形を学習します。面の形
や数、辺やちょう点の数に着目して、そ
の特徴を理解させましょう。

ぴったりに 2

1 はこの形の、かどのところをちょう
点、直線のところを辺、たいらなと
ころを面とい
います。

さいころの形も同じです。

2 はこの形も、さいころの形も、面は
6、辺は12、ちょう点は8あります。



3 見えない辺を-----でかきこむと、
下の図のようになります。

8cmの辺(○のしるしの辺)が4、
5cmの辺(×のしるしの辺)が4、
4cmの辺(△のしるしの辺)が4あ
ります。

ぴったりに 3

92~93 ページ

知識・技能

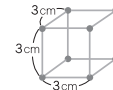
1つ5点(20点)

1 ① □にあてはまる数やことばを書きましょう。

① はこの形に、面は **6**、辺は **12**、ちょう点
は **8** あります。

② さいころの形の面の形は **正方形** です。

2 ① ひごとねん土玉で、右のよう
なさいころの形を作りました。



① どんな長さのひごを何本つかっている
でしょうか。

(**3**) cmのひごを (**12**) 本つかっている。

② ねん土玉を何こつかっている
でしょうか。

(**8**) こ

3 右のような、はこの形
があります。

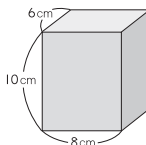
1つ10点(20点)

① 長さが10cmの辺はいくつある
でしょうか。

(**4**)

② 6cmの面の数はいくつある
でしょうか。

(**2**)

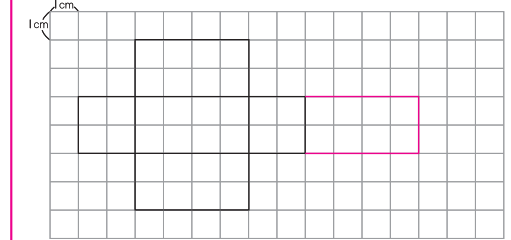
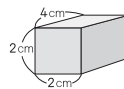


思考・判断・表現

40点

4 右のようなはこを作るために、下の
面をかいています。
つづきをかきましょう。

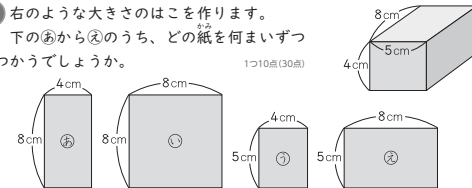
(10点)



🔍

5 右のような大きさのはこを作ります。
下のあからえのうち、どの紙を何まいづ
つかうでしょうか。

1つ10点(30点)



(**あ**) を **2** まい
(**う**) を **2** まい
(**え**) を **2** まい

ぴったりに 3

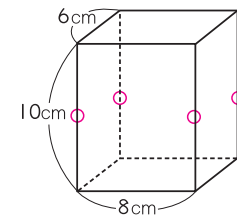
1 ②さいころの形の面は、6つとも正
方形になっています。

2 ①さいころの形に辺は12あるので、
同じ長さ(3cm)のひごが12本
あります。

②さいころの形にちょう点は8ある
ので、ねん土玉は8こつか
います。

3 見えない辺を-----でかきこむと、
つぎの図のようになります。

①○のしるしをつけた辺で、4あり
ます。



②同じ形の長方形の面が2つずつあ
ります。

④ たて2cm、よこ4cmの長方形の
面を1つかたします。

⑤ もんだいのはこの形には、同じ形の
面が2つずつあります。もんだい
のはここに、正方形の面はあり
ません。

15 1000より大きい数

ぴったりに1 94 ページ

つぎの□にあてはまる数を書きましょう。

①めあて 1000より大きい数があわせられるようになる。

1000より大きい数
1000を3こと426をあわせた数を3426と書き、
三千四百二十六とよみます。
3426の3は千の位の数字で、3000をあわせます。

千の位	百の位	十の位	一の位
3	4	2	6

100のまとまりが10こあつまったら、1000のまとまりになるよ。

1 1000を5こと、100を2こと、10を7こあわせた数を書きましょう。

とき方 1000が5こで5000です。
5000と270で5270です。

②めあて 100をあつめた数ができるようになる。

100がいくつ
十の位と一の位が0の数は、100のいくつ分とみることができま。

100が37こ < 100が30こ → 3000 > 3700
100が7こ → 700

2 100を24こあつめた数はいくつでしょうか。

とき方 100が20こで2000、100が4こで400だから、100を24こあつめた数は2400です。

ぴったりに2 95 ページ

つぎの数を書きましょう。

① 1000を8こと、100を1こと、10を4こと、1を6こあわせた数 (8146)

② 1000を6こと、10を5こと、1を9こあわせた数 (6059)

2 つぎの数を読みましよう。

① 4750 (四千七百五十) ② 2603 (二千六百三)

3 □にあてはまる>か<のしるしを書きましょう。

① 4934 > 4929 ② 8473 > 8470

4 100をつぎの数だけあつめた数を答えましよう。

① 26こ (2600) ② 73こ (7300)

5 つぎの数は、100を何こあつめた数でしょうか。

① 5400 (54こ) ② 9000 (90こ)

ぴったりに1 96 ページ

つぎの□にあてはまる数を書きましょう。

①めあて 一万の大きさがわかるようになる。

一万
1000を10こあつめた数を一万といい、10000と書きます。

1 10000より10小さい数はいくつでしょうか。

とき方 1めもりを1として、数の線にあらわしてみると、10000より10小さい数は9990です。

②めあて 何百のたし算ができるようになる。

800+400の計算のしかた
100のまとまりで考えます。
8+4=12だから、100が12こになります。

800は100のまとまりが8こ、400は100のまとまりが4こ。

800+400=1200
100が8+4=12(こ)で1200だね。

2 計算をしましよう。

(1) 500+900 (2) 700+600

とき方 100が何こになるかを考えます。

(1) 5+9=14だから、500+900=1400
(2) 7+6=13だから、700+600=1300

ぴったりに2 97 ページ

□にあてはまる数を書きましょう。

① 10000より1小さい数は9999です。

② 10000より100小さい数は9900です。

③ 9990より10大きい数は10000です。

④ 100を100こあつめた数は10000です。

2 下の数の線を見て答えましよう。

4000 5000 6000 7000 8000 9000 10000

① 6000より400大きい数 (6400)
② 8000より200小さい数 (7800)

3 計算をしましよう。

① 600+500 1100 ② 500+800 1300
③ 700+700 1400 ④ 800+300 1100
⑤ 300+900 1200 ⑥ 900+600 1500

ぴったりに1

おうちのかたへ
千の位の数字は1000の集まりの数を、百の位の数字は100の集まりの数を表していることを理解させましよう。

ぴったりに2

① ② 1000が6こ → 6000
10が5こ → 50
1が9こ → 9
あわせて 6059

②

千の位	百の位	十の位	一の位
2	6	0	3
二千	六百		三

↑0の位はよみません

- ③ ①十の位でくらべます。
②一の位でくらべます。
- ④ ①100が20こで2000、100が6こで600だから、100が26こで2600。
- ⑤ ①5000は100が50こ、400は100が4こだから、5400は100が54こ。

ぴったりに1

おうちのかたへ
万の位はまだ学びませんが、10000を「1000を10個集めた数」として認識させてください。

ぴったりに2

- ① 1000を10こあつめた数を一万といい、10000と書きます。10000は、9999より1大きい数です。
- ④ 100が10こで1000、1000が10こで10000だから、100が100こで10000になります。
- ② 数の線をつかって、考えましよう。

③ 何百の計算は、100のまとまりで考えます。

① 600+500=1100
6+5=11

⑤ 300+900=1200
3+9=12

しあげの5分レッスン
何百+何百の計算は、100のまとまりで計算し、100が何こ分になるかを考えよう。

ぴったりに3

98~99 ページ

知識・技能 80点

1 つぎの数を数字で書きましょう。 1つ4点(8点)

① 四千三百九十八 ② 六千五

(4398) (6005)

2 2つくり出 つぎの数を書きましょう。 1つ4点(12点)

① 1000を9こと、100を4こと、10を5こと、1を3こあわせた数

(9453)

② 1000を1こと、100を7こと、1を6こあわせた数

(1706)

③ 1000を10こあつめた数

(10000)

3 2つくり出 □にあてはまる数を書きましょう。 1つ5点(10点)

① 100を17こあつめた数は□1700です。

② 6300は100を□63こあつめた数です。

4 □にあてはまる>か<のしるしを書きましょう。 1つ5点(10点)

① 1104 > 1040 ② 8916 < 8961

5 2つくり出 下の数の線を見て答えましょう。 1つ5点(20点)

5000 6700 8300 9400 10000

① □にあてはまる数を書きましょう。

② 10000より200小さい数を書きましょう。

(9800)

③ 8300をあらわすめもりに↓を数の線に書きましょう。

6 計算をしましょう。 1つ5点(20点)

① 500+700 1200 ② 800+600 1400

③ 900+500 1400 ④ 200+900 1100

思考・判断・表現 20点

7 □にあてはまる数字をぜんぶ書きましょう。 1つ10点(20点)

① □324 < 5196 ② 8□50 > 8645

(4, 3, 2, 1) (6, 7, 8, 9)

8 2つくり出 1200-500の計算 1つ5点(10点)

1 計算をしましょう。

① 1300-800=500

② 1400-600=800

ぴったりに3

- 1 ②
- | | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| 千の位 | 百の位 | 十の位 | 一の位 |
| 六千 | | | 五 |
| 6 | 0 | 0 | 5 |
- ↑ ↑ ↑ ↓
- 0を書きます
- 2 ①9000と400と50と3で
9453。
②1000と700と6で1706。
十の位の0をわすれないようにしましょう。
- 3 ①100が10こで1000、100が7こで700だから、100が17こで1700。

- ②6000は100が60こ、300は100が3こだから、6300は100が63こ。
- 4 ①千の位は1で同じなので、百の位でくらべます。
②千の位は8、百の位は9で同じなので、十の位でくらべます。
- 5 数の線の大きい1めもりは1000を、小さい1めもりは100をあらわしています。
- ①左の□は、6000と7めもり(700)で6700。右の□は、

9000と4めもり(400)で9400。

- ②数の線をつかって、10000から小さいめもり2つ分もどつためもりがいくつか考えます。
- ③8300は、5000から大きなめもり3つ分すんだ8000のめもりから、小さいめもり3つ分すんだところでは、
- 6 100のまとまりで考えましょう。
- ①100が、5+7=12(こ)で1200。
②100が、8+6=14(こ)で1400。
③100が、9+5=14(こ)で1400。
④100が、2+9=11(こ)で1100。
- 7 ①□が5のとき、5324 > 5196、□が4のとき、4324 < 5196だから、□には4か、4より小さい数があてはまります。
②□が5のとき、8550 < 8645、□が6のとき、8650 > 8645だから、□には6か、6より大きい数があてはまります。

はってん

- 1 何百のたし算と同じように、100のまとまりで考えます。
- ① 1300-800=500
- 13-8=5
- ② 1400-600=800
- 14-6=8

16 図をつかって考えよう

ぴったりに 1 100 ページ

つぎの□にあてはまる数を書きましょう。

① テープ図をかいて、もんだいがとけるようになろう。

テープ図
もんだいにあわせてテープ図にあらわすと、どんな式になるかわかりやすくなります。

白いねこが9ひき、黒いねこが15ひきいます。あわせて何ひきいるでしょうか。

あわせて□ひき
白9ひき 黒15ひき
わからない数を□としてテープ図にあらわすと...

□をもとめる式はたし算になります。
式 $9+15=24$ 答え 24 ひき

1 リカさんは、あめを6こもっていました。何かもらったので、ぜんぶで14こになりました。もらったあめは何こでしょうか。

はじめに6こもっていました。□こもりました。ぜんぶで14こになりました。

右の図から、答えをもとめる式は、ひき算になります。
式 $14-6=8$ 答え 8 こ

ぴったりに 2 101 ページ

1 リボンが何 cm ありました。45 cm だったので、のこりが15 cm になりました。はじめにリボンは何 cm あったでしょうか。

① 図の□にあてはまる数を書きましょう。

はじめに□cm
のこり 15 cm 45 cm つかった

② 式に書いて、答えをもとめましょう。
式 $15+45=60$ 答え (60 cm)

2 公園に子どもが25人いました。何人が帰ったので、のこりが16人になりました。帰ったのは何人でしょうか。

① 図の□にあてはまる数を書きましょう。

はじめに 25 人
のこり 16 人 □人帰った

② 式に書いて、答えをもとめましょう。
式 $25-16=9$ 答え (9 人)

ぴったりに 3 102~103 ページ

知識・技能 60点

1 つぎのテープ図の□をもとめる式はどれでしょうか。下のあから②の中からえらびましょう。

① ぜんぶで18人
はじめに10人 □人のがってきた

② はじめに□こ
のこり10こ 8こ食べた

③ ぜんぶで18cm
のこり□cm 8cm つかった

あ 18+10 い 10+8 う 18-10 え 18-8

2 もんだいにあわせて、テープ図にあらわしましょう。

【もんだい】
はるさんは、買いものに行って90円つかいました。まだ70円こっています。はじめに何円もっていたでしょうか。

はじめに□円
のこり70円 (90円つかった) 90円つかった (のこり70円)

思考・判断・表現 40点

3 かえでさんはおり紙を27まいもっています。何まいもらったので、ぜんぶで42まいになりました。もらったおり紙は何まいでしょうか。

① 図の□にあてはまる数を書きましょう。

ぜんぶで 42 まい
はじめに 27 まい □まいもらった

② 式に書いて、答えをもとめましょう。
式 $42-27=15$ 答え (15 まい)

4 ちゅう車場に車が25台ありました。何台が出ていったので、のこりが8台になりました。出ていった車は何台でしょうか。

① 図の□にあてはまる数を書きましょう。

はじめに 25 台
のこり 8 台 □台出ていった

② 式に書いて、答えをもとめましょう。
式 $25-8=17$ 答え (17 台)

ぴったりに 1

おうちのかたへ

文章題を図に表すと、数の関係がわかりやすくなり、どんな式をつくれればよいかわかるようになります。できれば、自分で図がかけられるようになるまでくり返し練習させましょう。

ぴったりに 2

1 ②①の図から、「はじめのリボンの長さ」はたし算でもとめられることがわかります。

のこりの長さ+つかった長さ = はじめの長さ

2 ②①の図から、「帰った人数」はひき算でもとめられることがわかります。

はじめの人数 - のこりの人数 = 帰った人数

ぴったりに 3

1 ①式はひき算になります。
ぜんぶの数(18)-はじめの数(10)

②式はたし算になります。
のこりの数(10)+食べた数(8)

③式はひき算になります。
はじめの数(18)-つかった数(8)

2 わからない数は□とします。
テープ全体ははじめにもっていたお金をあらわすので、「はじめに□円」とします。右のほうを「つかったお金」にすると、左のほうは「のこったお金」になります。

3 ②①の図から、「もらったおり紙のまい数」はひき算でもとめられることがわかります。
ぜんぶのまい数 - はじめのまい数

4 ②①の図から、「出ていった車の台数」はひき算でもとめられることがわかります。
はじめの台数 - のこりの台数

17 1を分けて

ぴったりに1

104 ページ



つぎの□にあてはまる数を書きましょう。

同じ大きさに分けた1つ分のあらし方がわかるようになろう。

分数
同じ大きさに2つに分けた1つ分を、もとの大きさの二分の一といい、 $\frac{1}{2}$ と書きます。
同じ大きさに分けることを等分するといひ、 $\frac{1}{2}$ は、もとの大きさを2等分した1つ分の大きさです。
 $\frac{1}{2}$ や $\frac{1}{4}$ のようにあらわした数を、分数といいます。

4等分した1つ分を、もとの大きさの四分の一といひ、 $\frac{1}{4}$ と書くよ。

1 色をぬったところの大きさは、もとの大きさの何分の一でしょうか。分数で書きましょう。




(1)  (2) 

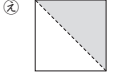


とき方 (1) もとの大きさを2等分した1つ分の大きさだから、二分の一といひ、 $\frac{1}{2}$ と書きます。
(2) もとの大きさを4等分した1つ分の大きさです。 $\frac{1}{4}$ と書きます。

ぴったりに2

105 ページ



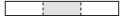
1 色をぬったところが、もとの大きさの $\frac{1}{2}$ になっている図をすべてえらびましょう。

①  ②  ③ 

④  ⑤  ⑥ 

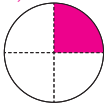
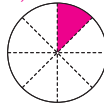
(う、え、か)

2 色をぬったところが、もとの長さの $\frac{1}{3}$ になっている図はどれでしょうか。

①  ②  ③ 

(う)

3 つぎの大きさになるように色をぬりましょう。



① もとの大きさの $\frac{1}{4}$ (れい)  ② もとの大きさの $\frac{1}{8}$ (れい) 


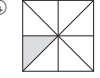
$\frac{1}{8}$ は、もとの大きさを8等分した1つ分だね。

ぴったりに3


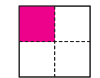
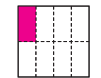
106 ページ

1 色をぬったところの大きさは、もとの大きさの何分の一でしょうか。分数で書きましょう。

①  ($\frac{1}{4}$) ②  ($\frac{1}{2}$)

③  ($\frac{1}{2}$) ④  ($\frac{1}{8}$)

2 つぎの大きさになるように色をぬりましょう。

① $\frac{1}{2}$ (れい)  ② $\frac{1}{4}$ (れい)  ③ $\frac{1}{8}$ (れい) 

3 $\frac{1}{3}$ の大きさを何倍すると、もとの大きさになるでしょうか。(10問)

(3倍)

分だけ色をぬります。どこをぬってもかまいません。

③図は8等分されているので、1つ分だけ色をぬります。どこをぬってもかまいません。

③ もとの大きさを3等分した1つ分が $\frac{1}{3}$ なので、3倍するともとの大きさになります。

ぴったりに1

おうちのかたへ

分数の導入の学習です。分数とはどんな数なのかをしっかりと理解させましょう。

ぴったりに2

- 1 同じ大きさの2つに分けた1つ分(もとの大きさの半分)に色がぬられているものをえらびます。2つに分けられていても、同じ大きさに分けられていないと、 $\frac{1}{2}$ にはなりません。
- 2 同じ大きさに3つに分けられた1つ分(もとの大きさの $\frac{1}{3}$)に色がぬら

れているものをえらびます。⑥と⑦は3等分されていません。

- 3 ①図は4等分されているので、1つ分だけ色をぬります。どこをぬってもかまいません。
- ②図は8等分されているので、1つ分だけ色をぬります。どこをぬってもかまいません。

しあげの5分レッスン

同じ大きさの分け方はいろいろあります。形はちがっても、等分に分けてあれば分数であらわすことができます。

ぴったりに3

- 1 ①もとの大きさを4等分した1つ分です。
- ②もとの大きさを2等分した1つ分です。
- ③もとの大きさを2等分した1つ分です。
- ④もとの大きさを8等分した1つ分です。
- 2 ①図は2等分されているので、1つ分だけ色をぬります。どこをぬってもかまいません。
- ②図は4等分されているので、1つ

お楽しみ会で算数

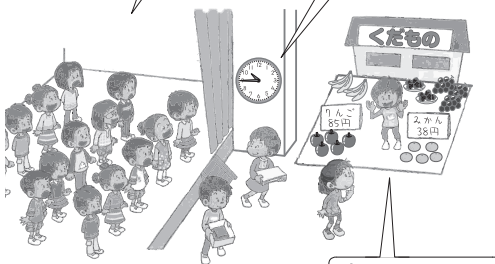
107 ページ

★ 5人ずつ3れつにならびます。何人ならぶでしょうか。

(15 人)

★ あと10分で休み時間です。休み時間は何時何分にはじまるでしょうか。

(10 時 55 分)



★ りんごとみかんを1こずつ買います。何円になるでしょうか。

(123 円)

★ おめんを1こ作るのに、テープを9cmつかいます。おめんを6こ作るのに、テープを何cmつかうでしょうか。

(54 cm)

何種をつかえばいいかな?



★ 5人の3れつぶんなので、かけ算でもとめます。

$$5 \times 3 = 15 \text{ (人)}$$

★ 時計は、みじかいはりが10と11の間、長いはりは「9」をさしているの、10時45分です。その時こくから10分たった時こくに休み時間がはじまるので、10時55分になります。

★ あわせたねだんをもとめるので、式はたし算です。

$$85 + 38 = 123 \text{ (円)}$$

★ 9cmの6こ分なので、かけ算でもとめます。長さもかけ算の式がつかえます。

$$9 \times 6 = 54 \text{ (cm)}$$

活用 算数をつかって考えよう

108 ページ

① りかさんは、日曜日から金曜日までのお手つだいの回数を、グラフにあらわしました。

① お手つだいの回数がいちばん多かった日と、いちばん少なかった日では、何回ちがうでしょうか。

(2 回)

② りかさんは、土曜日に、木曜日の3倍の回数のお手つだいをするつもりです。何回お手つだいをすればよいでしょうか。

$$\text{式 } 3 \times 3 = 9$$

答え (9 回)

ヒント

② ①のグラフを見て、日曜日から金曜日までのお手つだいの回数をくふうしてもとめましょう。

$$\text{式 } \text{(れい)} 4 \times 6 = 24$$

答え (24 回)

お手つだいの回数						
○	○					
○	○	○	○			
○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	
日	月	火	水	木	金	土

○を分けたり、いどうしたりして、同じ数のまもりをつくってみよう。九九をつかってもとめられようだよ。



② もとめ方はいろいろあります。

(れい1)

$$5 \times 2 = 10$$

$$4 \times 2 = 8$$

$$3 \times 2 = 6$$

$$10 + 8 + 6 = 24 \text{ (回)}$$

(れい2)

$$5 \times 3 = 15$$

$$3 \times 3 = 9$$

$$15 + 9$$

$$= 24 \text{ (回)}$$

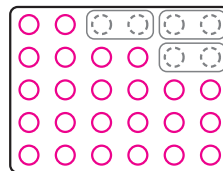
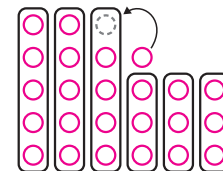
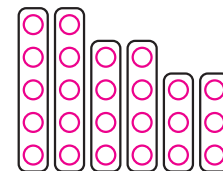
(れい3)

$$5 \times 6 = 30$$

$$2 \times 3 = 6$$

$$30 - 6$$

$$= 24 \text{ (回)}$$



① ① グラフを見ると、回数がいちばん多かった日は、5回の日曜日と月曜日です。いちばん少なかった日は、3回の木曜日と金曜日です。

5回と3回のちがいなので、 $5 - 3 = 2$ (回)。

② 木曜日の回数は3回なので、それをもとにかけ算でもとめます。

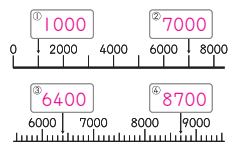
まとめのテスト

109 ページ

1 つぎの数を書きましょう。

- 1000 を3こと、100 を6こと、1 を8こあわせた数 (3608)
- 100 を29 こあつめた数 (2900)
- 10000 より100 小さい数 (9900)
- 1000 を10 こあつめた数 (10000)

2 □にあてはまる数を書きましょう。



3 □にあてはまる>か<のしるしを書きましょう。

- 1907 < 2017
- 6464 > 6459

4 計算をしましょう。

- $53+39 = 92$
- $96+54 = 150$
- $767+8 = 775$
- $613+67 = 680$
- $87-29 = 58$
- $145-78 = 67$
- $104-96 = 8$
- $662-46 = 616$

5 28 円のガムと、64 円のドーナツを買います。

① あわせて何円ですか。
式 $28+64=92$

答え (92 円)

② 100 円玉を出すと、おつりは何円ですか。
式 $100-92=8$

答え (8 円)

6000 と4めもり(400)で6400。

④8000 と7めもり(700)で8700。

3 数の大きさをくらべるときは、大きい位からじゅんに数字の大きさをくらべていきます。

- 千の位でくらべます。
- 十の位でくらべます。

4 くり上がり、くり下がりにちゅういして計算しましょう。

- $$\begin{array}{r} 1 \\ 53 \\ + 39 \\ \hline 92 \end{array}$$
- $$\begin{array}{r} 1 \\ 96 \\ + 54 \\ \hline 150 \end{array}$$
- $$\begin{array}{r} 1 \\ 767 \\ + 8 \\ \hline 775 \end{array}$$
- $$\begin{array}{r} 1 \\ 613 \\ + 67 \\ \hline 680 \end{array}$$
- $$\begin{array}{r} 71 \\ 87 \\ - 29 \\ \hline 58 \end{array}$$
- $$\begin{array}{r} 31 \\ 45 \\ - 78 \\ \hline 67 \end{array}$$
- $$\begin{array}{r} 91 \\ 4 \\ - 96 \\ \hline 8 \end{array}$$
- $$\begin{array}{r} 51 \\ 62 \\ - 46 \\ \hline 616 \end{array}$$

5 ①「あわせて何円」なので、たし算です。

$$\begin{array}{r} 1 \\ 28 \\ + 64 \\ \hline 92 \end{array}$$

②100 円から、ガムとドーナツをあわせた大金をひきます。

$$\begin{array}{r} 91 \\ 0 \\ - 92 \\ \hline 8 \end{array}$$

$100-28-64=8$ (円) としてもよいです。

まとめのテスト

110 ページ

1 計算をしましょう。

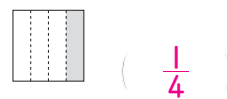
- $4 \times 8 = 32$
- $5 \times 6 = 30$
- $3 \times 9 = 27$
- $8 \times 7 = 56$
- $9 \times 8 = 72$
- $7 \times 3 = 21$

2 1ふくろに6こずつ入ったクッキーが7ふくろあります。

クッキーはぜんぶで何こあるでしょうか。
式 $6 \times 7 = 42$

答え (42 こ)

3 色をぬったところの大きさは、もとの大きさの何分の一でしょうか。

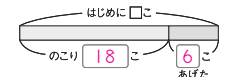


4 りんごが何こありました。

6こあげたので、のこりが18こになりました。

はじめにりんごは何こあったでしょうか。

① 図の□にあてはまる数を書きましょう。



② 答えをもとめましょう。
式 $18+6=24$

答え (24 こ)

5 シールが23まいあります。

何まいかつかったので、のこりが14まいになりました。

つかったシールは何まいでしたらうか。

式 $23-14=9$

答え (9 まい)

- ①3000 と600 と8で3608。
十の位の数字は0になります。
- ②100 が20 こで2000、100 が9こで900 だから、100 が29 こで2900。
- ①1めもりは1000 をあらわします。
- ②6000 より1000 大きい数なので、7000 になります。
- ③大きい1めもりは1000、小さい1めもりは100 をあらわします。

- ① かけ算九九は、くりかえしれんしゅうしましょう。
- ② 6この7ふくろ分なので、かけ算でクッキーの数をもとめます。
- ③ 4等分した1つ分なので、 $\frac{1}{4}$ です。
- ④ ①の図から、「はじめにあってりんごの数」は、たし算でもとめられることがわかります。
のこりの数+あげた数 = はじめの数
- ⑤ 図から、「つかったシールのまい数」

は、ひき算でもとめられることがわかります。

はじめのまい数-のこりのまい数 = つかったまい数

まとめテスト

111 ページ

1 □にあてはまる数を書きましょう。

- ① 400 cm = 4 m
- ② 2m3cm = 203 cm
- ③ 6000 mL = 6 L
- ④ 3L7dL = 3700 mL

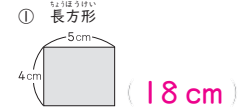
2 計算をしましょう。

- ① 3m17cm + 2m = 5m17cm
- ② 1m80cm - 65cm = 1m15cm
- ③ 2L4dL + 5L = 7L4dL
- ④ 4L9dL - 3dL = 4L6dL

3 水がペットボトルに400mL、コップに200mL入っています。

- ① あわせて何mLでしょうか。
600 mL
- ② ちがいは何mLでしょうか。
200 mL

4 つぎの形のまわりの長さは何cmでしょうか。



5 右のようなさいころの形があります。

① 面の形はどんな形でしょうか。

(正方形)

② 辺とちょう点は、それぞれいくつあるでしょうか。

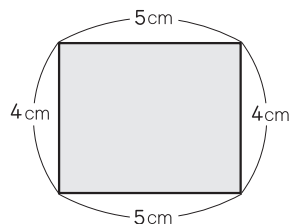
辺 12
ちょう点 8

④ $4L9dL - 3dL = 4L6dL$

3 水のかさも、計算でもとめることができます。何百と何百の計算なので、100のまとまりの数の計算で答えをもとめましょう。

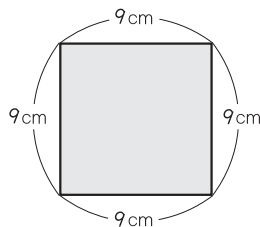
- ① $400\text{ mL} + 200\text{ mL} = 600\text{ mL}$
100 mL が $4 + 2 = 6$ →
- ② $400\text{ mL} - 200\text{ mL} = 200\text{ mL}$
100 mL が $4 - 2 = 2$ →

4 ① 長方形は、むかい合っている辺の長さが同じです。



$4\text{ cm} + 5\text{ cm} + 4\text{ cm} + 5\text{ cm} = 18\text{ cm}$

② 正方形は、4つの辺の長さがみんな同じです。



$9 \times 4 = 36\text{ (cm)}$

5 ② さいころの形も、はこの形も、辺は12、ちょう点は8、面は6あります。

- 1 ① $100\text{ cm} = 1\text{ m}$
- ② $2\text{ m} = 200\text{ cm}$ だから、 $2\text{ m}3\text{ cm}$ は 200 cm と 3 cm で 203 cm 。
- ③ $1000\text{ mL} = 1\text{ L}$
- ④ $1\text{ dL} = 100\text{ mL}$ です。
 $3\text{ L} = 3000\text{ mL}$ 、 $7\text{ dL} = 700\text{ mL}$ だから、 $3\text{ L}7\text{ dL}$ は、 3000 mL と 700 mL で 3700 mL 。
- 2 ① $3\text{ m}17\text{ cm} + 2\text{ m} = 5\text{ m}17\text{ cm}$
- ② $1\text{ m}80\text{ cm} - 65\text{ cm} = 1\text{ m}15\text{ cm}$
- ③ $2\text{ L}4\text{ dL} + 5\text{ L} = 7\text{ L}4\text{ dL}$

まとめテスト

112 ページ

1 朝、家を出た時と、夜、はみがきをした時とを、午前か午後をつけて答えましょう。



(午前8時15分)



(午後8時40分)

2 □にあてはまる数を書きましょう。

- ① 1時間 = 60 分
- ② 1時間20分 = 80 分
- ③ 70分 = 1 時間 10 分

3 花の数をしらべます。

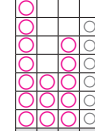


① 表にあらわしましょう。

花の数しらべ	ひまわり	すいせん	チューリップ	あさがお
数(本)	7	3	5	6

② グラフにあらわしましょう。

花の数しらべ



③ いちばん数が多い花は何でしょうか。

(ひまわり)

④ いちばん数が少ない花は何でしょうか。

(すいせん)

⑤ ひまわりとチューリップの数のちがいは何本でしょうか。

(2本)

- ② 表の数と同じ数だけ、それぞれ下からじゅんに○をかきます。
 - ③ いちばん多い数は7だから「ひまわり」です。②でかいたグラフを見るとひとめでわかります。
 - ④ いちばん少ない数は3だから「すいせん」です。
 - ⑤ 表から、 $7 - 5 = 2$ 。
- また、グラフから、2つの花の○の高さをくらべて、とび出た○の数を数えます。

- 1 ① 朝だから、午前です。
- ② 夜だから、午後です。
- 2 1時間 = 60分をもとにして考えましょう。
- ② 1時間と20分は、60分と20分なので80分。
- ③ 70分は、60分と10分なので、1時間10分。
- 3 ① 数を数えるときは、数えまちがいやかさなりがないように、えんぴつでしるしをつけながら数えるようにしましょう。

夏のチャレンジテスト

教科書 上11~103ページ

名前

月 日

時間
40分

こつかく80点

/100

答え33ページ

知識・技能 / 84点

1 つぎの数を書きましょう。

1つ4点(12点)

① 100を4こと、1を3こあわせた数

(403)

② 10を53こあつめた数

(530)

③ 990より10大きい数

(1000)

2 □にあてはまる数を書きましょう。

1つ3点(12点)

① $380 \quad \boxed{390} \quad 400 \quad 410 \quad \boxed{420}$

② $300 \quad 400 \quad \boxed{500} \quad 600 \quad \boxed{700}$

3 □にあてはまる>か<のしるしを書きましょう。

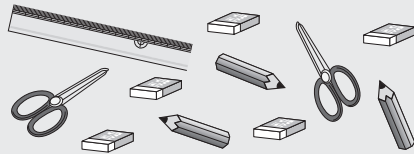
1つ4点(8点)

① 102 > 98

② 913 < 921

4 文房具の数をしらべます。

①・② 1つ4点(8点)



① グラフにあらわしましょう。

文房具の数しらべ

	○		
	○		
○	○		
○	○	○	
○	○	○	○
えんぴつ	けしゴム	はさみ	ものさし

② いちばん数が多い文房具はどれでしょうか。

(けしゴム)

5 テープの長さは何cm何mmでしょうか。

また、何mmでしょうか。

1つ4点(8点)



(6 cm 4 mm)

(64 mm)

1 ①100が4こで400、1が3こで3だから、403になります。

②10が50こで500、10が3こで30だから、10が53こで530。

2 めもり1つ分がいくつをあらわしているかを、まずしらべましょう。

①400のとなりが410なので、1めもりは10。

②300のとなりが400なので、1めもりは100。

3 ①102は100より大きく、98は100より小さい数であることからわかります。

②百の位は9で同じだから、十の位でくらべます。

4 ①えんぴつでしるしをつけながら、グラフに○であらわしましょう。

○は下からかきます。

②グラフから、○の高さがいちばん高いものが数が多いこととなります。

5 1cmが6こ分(6cm)と1mmが4こ分で6cm4mmです。

6cm=60mmだから、6cm4mmは、60mmと4mmで64mmです。

6 なつみさんが 本を 読んで いた
時間は何分間でしょうか。(4点)



(35 分間)

7 計算を しましょう。(24点)

① $46 + 39 = 85$

② $65 + 98 = 163$

③ $515 + 46 = 561$

④ $94 - 37 = 57$

⑤ $113 - 58 = 55$

⑥ $365 - 8 = 357$

8 くふうして 計算しましょう。(8点)

① $19 + 24 + 6 = 49$

② $18 + 57 + 22 = 97$

思考・判断・表現 / 16点

9 本だけに 本が 95さつ あります。
新しく 28さつ 買うと、本は
ぜんぶで 何さつに なるでしょうか。

式 $95 + 28 = 123$

こた 答え (123 さつ)

10 おりが紙が 104まい ありました。
この うち 16まい つかいました。
のこった おりが紙は
何まいでしょうか。

式 $104 - 16 = 88$

こた 答え (88 まい)

6 4時から4時35分まで本をよんで
いました。長いはりが35めもりす
すんでいるので35分間です。

7 くり上がり、くり下がりにちゅうい
しましょう。

①
$$\begin{array}{r} 1 \\ 46 \\ + 39 \\ \hline 85 \end{array}$$

②
$$\begin{array}{r} 1 \\ 65 \\ + 98 \\ \hline 163 \end{array}$$

③
$$\begin{array}{r} 1 \\ 515 \\ + 46 \\ \hline 561 \end{array}$$

④
$$\begin{array}{r} 81 \\ 94 \\ - 37 \\ \hline 57 \end{array}$$

⑤
$$\begin{array}{r} 101 \\ \sphericalangle \sphericalangle 3 \\ - 58 \\ \hline 55 \end{array}$$

⑥
$$\begin{array}{r} 51 \\ 365 \\ - 8 \\ \hline 357 \end{array}$$

8 ① $19 + (24 + 6) = 19 + 30 = 49$

② $18 + 57 + 22 = (18 + 22) + 57 = 97$

9 筆算は、下のようになります。

$$\begin{array}{r} 1 \\ 95 \\ + 28 \\ \hline 123 \end{array}$$

10 筆算は、下のようになります。

$$\begin{array}{r} 91 \\ \sphericalangle \sphericalangle 4 \\ - 16 \\ \hline 88 \end{array}$$

知識・技能

68点

1 にあてはまる数を書きましょう。

1もん4点(20点)

① 1 L 3 dL = dL

② 28 dL = L dL

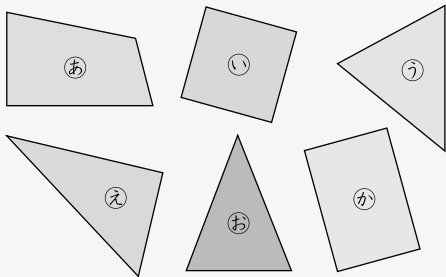
③ 4 dL = mL

④ 6 m = cm

⑤ 305 cm = m cm

2 長方形、正方形、直角三角形を見つけましょう。

1つ4点(12点)



長方形 () 正方形 ()

直角三角形 ()

3 かけ算の式にあらわします。

にあてはまる数を書きましょう。

(4点)



×

4 計算をしましょう。

1つ4点(32点)

① 7 × 4 =

② 6 × 9 =

③ 2 × 6 =

④ 8 × 2 =

⑤ 9 × 5 =

⑥ 4 × 3 =

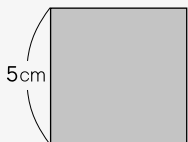
⑦ 3 × 8 =

⑧ 5 × 7 =

- 1 ① 1 L = 10 dL
② 28 dL は、20 dL (2 L) と 8 dL で 2 L 8 dL。
③ 1 dL = 100 mL
④ 1 m = 100 cm
⑤ 305 cm は、300 cm (3 m) と 5 cm で、3 m 5 cm。
- 2 正方形は、4つのかどがみんな直角で、4つの辺の長さがみんな同じになっています。長方形とまちがえないようにしましょう。
①と②は三角形ですが、直角のかどがないので直角三角形ではありません。
- 3 5この4つ分だから、5 × 4 とあらわします。4 × 5 とまちがえないようにしましょう。
- 4 九九は、あんきするまでくりかえしれんしゅうしましょう。

5 1つの^{へん}辺の長さが5cmの正方形があります。

1つ4点(8点)



① 正方形に直角のかどはいくつあるでしょうか。

(4)

② 正方形のまわりの長さは何^{なん}cmでしょうか。

(20 cm)

6 ^{なが}長いすが8つあります。
1つの長いすに6人ずつすわると、
ぜんぶで何人すわれるでしょうか。

式・答え 1つ4点(8点)

式 $6 \times 8 = 48$

答え (48 人)

7 みなとさんはシールを8まいもっています。

お兄さんは、みなとさんの3倍^{ばい}のシールもっています。

お兄さんは、シールを何まいもっているでしょうか。

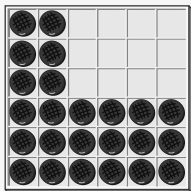
式・答え 1つ4点(8点)

式 $8 \times 3 = 24$

答え (24 まい)

8 チョコレートは何こあるでしょうか。
くふうしてもとめましょう。

式・答え 1つ4点(8点)



式 (れい) $6 \times 2 = 12$
 $3 \times 4 = 12$
 $12 + 12 = 24$

答え (24 こ)

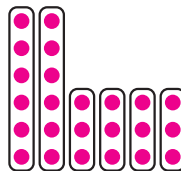
5 ② ^{せいほうけい}正方形の4つの^{へん}辺の長さはみんな5cmです。5cmの4つ分^{ぶん}だから、
かけ算^{さん}の式でもとめることができます。

$$5 \times 4 = 20(\text{cm})$$

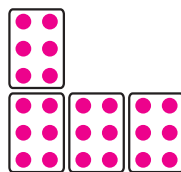
6 6人の8つ分^{ぶん}で、式は、
 $6 \times 8 = 48(\text{人})$
式を 8×6 としないようにちゅうい
しましょう。

7 3つ分^{ぶん}のことを3倍^{ばい}といいます。
お兄さんは、8まいの3倍^{ばい}もっているから、
式はかけ算^{さん}で、
 $8 \times 3 = 24(\text{まい})$ となります。

8 (れい)の式は、下の^{かんが}ように考えても
とめたものです。
つぎの^{かんが}ように考えてもとめることも
できます。くふうしてもとめてみま
しょう。

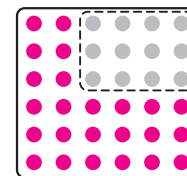


(れい1)



$$6 \times 4 = 24$$

(れい2)



$$6 \times 6 = 36$$

$$3 \times 4 = 12$$

$$36 - 12 = 24$$

春のチャレンジテスト

教科書 下58~103ページ

名前 _____ 月 _____ 日 _____

時間 40分
 ところかく80点 /100
 答え37ページ

知識・技能 /76点

1 数字で書きましょう。 1つ4点(8点)

① 七千二百五十一
 (7251)

② 四千八十三
 (4083)

2 □にあてはまる数を書きましょう。 1もん4点(12点)

① 4900は、1000を **4** こと
 100を **9** こあわせた数です。

② 100を67こあつめた数は
6700 です。

③ 5000は100を **50** こあつめた数です。

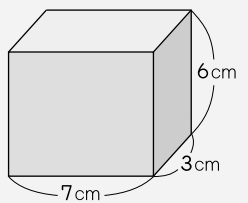
3 下の数の線で、あ、いのめもりがあらわす数を答えましょう。 1つ4点(8点)



あ (3700)

い (3930)

4 下のはこの形について答えましょう。 1つ4点(12点)



① ちょう点はいくつあるでしょうか。
 (8)

② 長さが6cmの辺はいくつあるでしょうか。
 (4)

③ たて3cm、よこ7cmの長方形の面はいくつあるでしょうか。
 (2)

5 色をぬったところの大きさは、もとの大きさの何分の一でしょうか。 1つ4点(8点)

① (1/2)

② (1/4)

1 ②

千の位	百の位	十の位	一の位
四千		八十	三
4	0	8	3

←百の位に0を書く

2 ① 4900は、1000が4こと100が9こ。

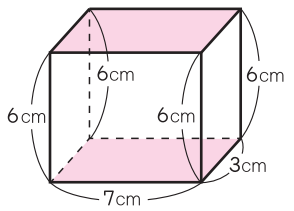
② 100が60こで6000、100が7こで700だから、100が67こで6700。

③ 100を10こあつめた数が1000だから、5000は100を50こあつめた数。

3 大きいめもりは、500を5つに分けているから100をあらわします。小さいめもりは、100を10に分けているから10をあらわします。
 あ 3500より200大きい数で3700。

い 3900と3めもり(30)で3930。

4 ① どんなはこの形でも、ちょう点は何個ありますか。
 ② 下の図のように、4あります。
 ③ 色をつけた面で、2あります。



5 ① もとの大きさを2等分した1つ分だから $\frac{1}{2}$
 ② もとの大きさを4等分した1つ分だから $\frac{1}{4}$

6 □にあてはまる数を書きましょう。

① 3×9 の答えは、 3×8 の答えより **3** 大きいです。

② 5×7 の答えは、 $7 \times$ **5** の答えと同じです。

7 答えが12になる九九をぜんぶ書きましょう。

(2×6 、 3×4 、 4×3 、 6×2)

8 計算をしましょう。

① 8×11 **88**

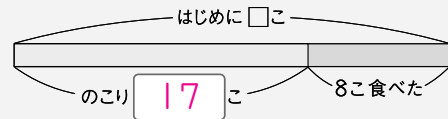
② 10×5 **50**

③ $600 + 700$ **1300**

④ $900 + 500$ **1400**

思考・判断・表現 / 24点

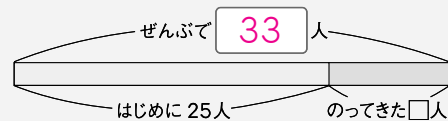
9 みかんが何こありました。8こ食べたので、のこりは17こになりました。はじめにみかんは何こあったでしょうか。テープ図の□にあてはまる数を書いて、答えをもとめましょう。



式 $17 + 8 = 25$

答え (**25こ**)

10 バスに25人のっています。とちゅうで何人かのってきたので、ぜんぶで33人になりました。とちゅうでのってきたのは何人でしょうか。テープ図の□にあてはまる数を書いて、答えをもとめましょう。



式 $33 - 25 = 8$

答え (**8人**)

6 かけ算のきまりをつかきましょう。
①かける数が1ふえると、答えはかけられる数だけふえます。

$$\begin{array}{r} 3 \times 8 = 24 \\ \text{1ふえる} \downarrow \quad \downarrow \text{3ふえる} \\ 3 \times 9 = 27 \end{array}$$

②かけられる数とかける数を入れかえても、答えは同じになります。

$$\begin{array}{r} 5 \times 7 = 7 \times 5 \\ \underline{35} \quad \underline{35} \end{array}$$

7 答えから九九がもとめられるようになりましょう。1つ見つけたら、かけられる数とかける数と入れかえれば、もう1つ見つかります。

8 ①かけ算のきまりをつかって答えをもとめます。

$$\begin{array}{r} 8 \times 9 = 72 \\ \text{1ふえる} \downarrow \quad \downarrow \text{8ふえる} \\ 8 \times 10 = 80 \\ \text{1ふえる} \downarrow \quad \downarrow \text{8ふえる} \\ 8 \times 11 = 88 \end{array}$$

② $10 \times 5 = 5 \times 10$

$$\begin{array}{r} 5 \times 9 = 45 \\ \text{1ふえる} \downarrow \quad \downarrow \text{5ふえる} \\ 5 \times 10 = 50 \end{array}$$

③100が、 $6 + 7 = 13$ (こ)で1300。

④100が、 $9 + 5 = 14$ (こ)で1400。

9 図から、式はたし算になります。
のこりの数 + 食べた数 = はじめの数

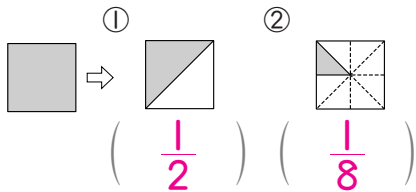
10 図から、式はひき算になります。
ぜんぶの人数 - はじめの人数 = のってきた人数

1 つぎの数を書きましょう。 1つ3点(6点)

① 100を3こ、1を6こあわせた数 (306)

② 1000を10こあつめた数 (10000)

2 色をぬったところはもとの大きさの何分の一ですか。 1つ3点(6点)



3 計算をしましょう。 1つ3点(12点)

①
$$\begin{array}{r} 214 \\ + 57 \\ \hline 271 \end{array}$$

②
$$\begin{array}{r} 546 \\ - 27 \\ \hline 519 \end{array}$$

③ $4 \times 8 = 32$

④ $7 \times 6 = 42$

4 あめを3こずつ6つのふくろに入ると、2このりしました。あめはぜんぶで何こありましたか。 1つ3点(6点)

しき $3 \times 6 + 2 = 20$
答え (20こ)

5 すずめが14わいました。そこへ9わとんできました。また11わとんできました。すずめは何わになりましたか。とんできたすずめをまとめてたす考え方で1つのしきに書いてもどめましよう。 1つ3点(6点)

しき $14 + (9 + 11) = 34$

答え (34わ)

6 □に >か、<か、=を書きましよう。 (2点)

25 dL > 2L

7 □にあてはまるながの長さのたんいを書きましょう。 1つ3点(9点)

① ノートのあつさ...5 mm

② プールのたての長さ...25 m

③ テレビのよこの長さ...95 cm

8 右の時計をみてつぎの時こくを書きましよう。 1つ3点(6点)



① 1時間あと (5時50分)

② 30分前 (4時20分)

1 ①100を3こあつめた300と、6とで306です。

②1000を10こあつめた数は10000です。

2 ②もとの大きさを同じ大きさに8つに分けた1つぶんだから、 $\frac{1}{8}$ です。

3 ①②ひっ算はくらいをそろえて計算します。くり上がりやくり下がりにちゅういして、計算ましよう。

4 3こずつ6つのふくろにはいつているあめの数は、かけ算でもとめます。ぜんぶの数は、ふくろにはいつている数とのこっている数をたした数になります。

$3 \times 6 + 2 = 18 + 2 = 20$

5 まとめてたすときは、()をつかって1つのしきにあらわまします。

$14 + (9 + 11) = 14 + 20 = 34$

6 2L = 20 dLだから、25 dL > 20 dLになります。

7 それぞれの長さを思いうかべて考えまします。

1 mm、1 cm、1 mが、およそどれくらいの長さかを おぼえておきましよう。

8 時計は4時50分をさしてまします。

②30分前は、時計の長いはりをぎやくにまわして考えまします。

